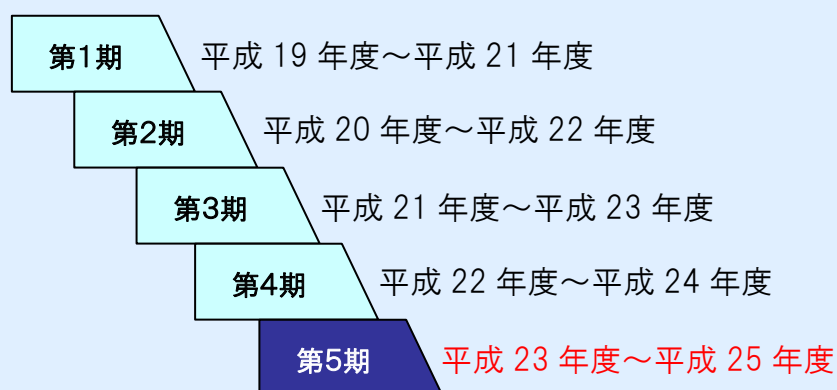


実施計画

米原市総合計画

第 5 期 版



⋮
第 10 期まで策定

平成 22 年 12 月



計画の趣旨

この実施計画は、平成 19 年6月に策定された米原市総合計画の基本構想が掲げる将来像「自然きらめき ひと・まち ときめく 交流のまち」を実現するため、基本計画で示す施策の方向に沿って取り組む主要な事業について、事業内容と実施時期を明らかにした短期計画として策定し、事業の着実な実施を目指します。また、市長マニフェストに基づく実施項目についても第3期・第4期統合版計画から新たに組み込み、確実な事業実施を図るため短期計画に位置付け、その進行管理を行います。

計画の期間

本計画の期間は、平成 23 年度から平成 25 年度までの3か年とし、第5期計画とします。

計画の運用

- ・ 社会経済情勢の変化や財政計画と整合を図りながら、毎年度ローリング方式により計画を見直します。
- ・ 総合的かつ計画的に事業を推進するため、毎年度の予算編成に際しての指針として、この計画を用います。
- ・ 推進項目の名称は、複数の事務事業を組み合わせで編集しているものもあるため、必ずしも正式な事業名とはなっていません。
- ・ マニフェスト区分については、67～71 ページの体系に基づき表記しています。

数値目標

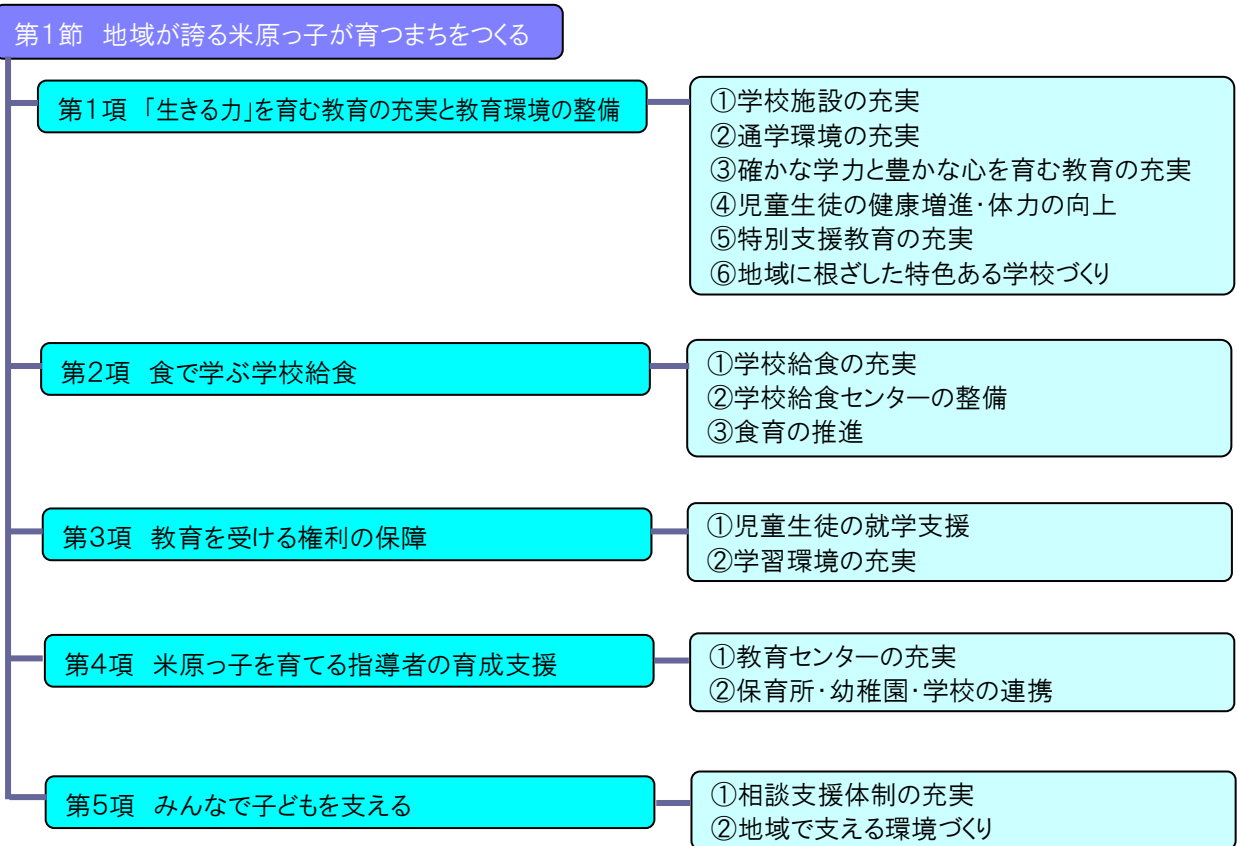
市が実施する施策や事業の達成度を市民に分かりやすく示すため、一部の事業で数値目標を設定しています。なお、平成 20 年度からモデル実施している行政評価(事務事業評価)においても、成果指標、活動指標として数値把握を活用しています。

現状値は、平成 21 年度の実績値または平成 21 年度末現在の数値を用いて算出した数値とし、前計画の実績値(平成 20 年度値)との比較ができるようになっています。

目次

第1章 誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち	1
第1節 地域が誇る米原っ子が育つまちをつくる	1
第2節 地域の宝を大切に作るまちをつくる	7
第3節 自然・地域・人から学ぶまちをつくる	9
第4節 一人ひとりが大切にされるまちをつくる	11
第2章 市民の絆で築く心と体の健康なまち	13
第1節 生涯を通して健康なまちをつくる	13
第2節 子育て世代が定住したいまちをつくる	17
第3節 誰もが安心して暮らせるまちをつくる	21
第4節 地域の絆で支えるまちをつくる	27
第3章 田舎都市が魅せるいやしのまち	29
第1節 ホタルが輝き続けるまちをつくる	29
第2節 自然と共存するまちをつくる	31
第3節 田舎都市の原風景が広がるまちをつくる	33
第4節 子どもたちの未来につながるまちをつくる	35
第4章 災害に強く生活が便利なほっとするまち	37
第1節 市民の命と財産が守られるまちをつくる	37
第2節 子どもがみちくさできるまちをつくる	41
第3節 交通体系の整備により一体的なまちをつくる	43
第4節 市民をつなぐ情報が交流するまちをつくる	45
第5章 地の利を活かしたにぎわいのまち	47
第1節 にぎわいを実感できるまちをつくる	47
第2節 琵琶湖東北部の核となるまちをつくる	51
第3節 訪れる人に感動を与えるまちをつくる	53
第4節 誰もが憧れるまちをつくる	55
政策実現のための都市経営	57
その1 市民主権による都市経営(協働のまちづくり推進)	57
その2 顔の見える都市経営(情報の共有)	61
その3 次代に引き継ぐための都市経営(行財政改革の推進)	63
「市長マニフェスト」と本計画との相関関係	67
資料 数値目標一覧	73
所管局課別目次	77

《施策体系》



◆第1項「生きる力」を育む教育の充実と教育環境の整備

- ①学校施設の充実 ②通学環境の充実 ③確かな学力と豊かな心を育む教育の充実
 ④児童生徒の健康増進・体力の向上 ⑤特別支援教育の充実
 ⑥地域に根ざした特色ある学校づくり

数値目標 —現状値と平成25年度末の目標値—	<H20年度値>	<現状値>	<目標値>
児童生徒の長期(年間30日以上)欠席率(小学校)	0.53 %	0.74 %	0.50 %
児童生徒の長期(年間30日以上)欠席率(中学校)	2.75 %	2.96 %	2.00 %
教育課程の工夫を目指した研究推進校・園の校・園数(累計)	6校・園	6校・園	12校・園

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
幼稚園・小中学校 在り方検討事業	学校等の在り方検討委員会を設置し、校園の将来の在り方について提言いただき、校園の適正規模、適正化の方法などを調査・検討します。	学校教育課	実施完了 (H21 年度) 答申			
幼保一元化推進事業	平成 19 年度に開園したいぶき認定こども園の検証を行った上で、幼稚園と保育所の双方の機能の良さを活かし、0 歳児から 5 歳児までの子どもの育ちを一貫して支えるシステムづくりや子育て家庭への支援を行うための幼保一元化に取り組みます。	幼児教育室 学校教育課 教育総務課	実施 こども園対象施設の調査・検討・完了 (H21 年度)	→	→	1-②
			幼保一元化推進プラン策定・完了 (H21 年度)			1-②
			(仮称)ふたば認定こども園施設整備協議	継続・完了	施設整備	1-②
教育振興基本計画策定管理事業	市として、今後 10 年間の目指すべき教育の姿や方向性を明らかにするため、今後 6 年間に取り組むべき施策を総合的・計画的に推進する教育基本計画を策定します。	教育総務課	実施 計画策定・完了 (H22 年度) 進捗よく管理	→ 継続	→ 継続	
幼稚園・小中学校 施設整備事業	市内学校教育施設の老朽化に伴う改修や耐震化など、安全対策のための計画的な整備に取り組めます。また、特に老朽化が著しい双葉体育館と近江体育館を統合し、新たな教育施設として(仮称)新双葉中体育館の早期整備に取り組めます。	教育総務課 スポーツ振興室	実施 全小学校 AED 配備・完了 (H21 年度)	→	→	
			【幼稚園】 いぶき認定こども園屋根防水工事	不都合箇所営繕修理、老朽遊具の新設	継続	5-①
			【小学校】 不都合箇所営繕修理工事・老朽遊具の新設ほか	柏原小・春照小校舎大規模改修・安全対策工事等、山東西小プール改修設計ほか	柏原小・春照小校舎大規模改修・安全対策工事、山東西小プール改修設計ほか	5-①
			【中学校】 不都合箇所営繕修理等	継続	継続	5-①
			双葉中体育館建設設計・工事	双葉中体育館建設工事、双葉体育館解体撤去工事・完了		3-④
特色ある校園づくり推進事業	副読本の活用や校外活動、体験的活動の実施などにより、特色ある校園づくりを進めます。	学校教育課 水源の里振興室	実施 水源の里編副読本作成印刷・完了 郷土史編副読本改定	→ 郷土史編副読本印刷・完了	→	1-③ 2-⑨ 1-④

第1章

誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち

第1節 地域が誇る米原っ子が育つまちをつくる

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
教育調査研究事業	学力状況調査・授業改善研究などの教育センター事業や研究推進校の指定などにより、学習指導の充実と学力向上に取り組めます。	教育センター	実施	→	→	
すこやか支援事業	小学校 1 年生が、学校生活になじめるよう学習面や生活面でのきめ細やかな指導を行うため、国の緊急雇用創出事業を活用し、すこやか支援員の配置を行います。	学校教育課	実施完了 (H21 年度)			1-③
職場体験学習事業	中学生が大人の働きぶりに直接触れることにより、自分の生き方を考える機会や進路選択できる力、将来社会人として自立できる力を育てるために、市内全中学校 2 年生を対象に 5 日間の職場体験を実施します。	学校教育課	実施	→	→	1-③
子どもサポート体制整備事業	ケアサポーター派遣や適応指導教室など子どもサポート体制を整備し、各種相談事業、訪問事業の展開を図ります。	特別支援サポートセンター	実施	→	→	1-⑤
子どもの体力アップ推進事業	体力テストの実施や児童・生徒派遣支援などの実施により、児童・生徒の体力向上に取り組めます。	学校教育課	実施	→	→	1-⑦
外国語教育推進事業	小学校への MGT(米原市国際理解教育協力員)、ALT(外国語指導助手)の設置により、異文化理解などの国際理解や国際的感覚、語学力の向上を目指します。	学校教育課	実施	→	→	

◆第2項 食で学ぶ学校給食

①学校給食の充実 ②学校給食センターの整備 ③食育の推進

数値目標 —現状値と平成 25 年度末の目標値—	<H20 年度値>	<現状値>	<目標値>
学校給食における地場産物を使用する割合(食材数ベース)	19.50 %	22.40 %	25.00 %

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
給食センター施設整備事業	山東および伊吹学校給食センターを統合し、東部給食センターを整備します。	教育総務課	実施完了 (H21 年度)			
	近江地域のセンター方式移行に伴う米原学校給食センターの増改築および校園における給食プラットホームの整備に取り組みます。	教育総務課	実施完了 (H22 年度) 近江地域 プラットホーム 改修工事			
	新たに整備した東部給食センターを児童・生徒はもとより市民の食育の拠点として、活用を図ります。	学校給食センター	実施 食育学習会 開催	→ 継続	→ 継続	
学校給食事業	地域農産物を活用しながら、給食内容の充実を図り、安心・安全なおいしい給食を提供します。	学校給食センター	実施	→	→	
子どもの食育体験推進事業	子どもの田んぼ体験や農村交流事業の実施により、小学生が自ら育て、収穫し、食べるという体験学習を実施します。また、学校給食を通じ、食の安全、栄養について学ぶとともに、食事マナーや感謝の心を養います。	農林振興課 教育総務課 健康づくり課	実施	→	→	1-③

◆第3項 教育を受ける権利の保障

①児童生徒の就学支援 ②学習環境の充実

数値目標 —現状値と平成 25 年度末の目標値—	<H20 年度値>	<現状値>	<目標値>
児童生徒の長期(年間 30 日以上)欠席率 (小学校)【再掲】	0.53 %	0.74 %	0.50 %
児童生徒の長期(年間 30 日以上)欠席率 (中学校)【再掲】	2.75 %	2.96 %	2.00 %

第1章

誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち

第1節 地域が誇る米原っ子が育つまちをつくる

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23年度	H24年度	H25年度	
情報化環境整備事業	小中学校のコンピューター機器を整備し、IT 知識を育成するための情報環境の充実を図ります。	教育総務課	実施	→	→	
子どもサポート体制整備事業 【再掲】	ケアサポーター派遣や適応指導教室など、子どもサポート体制を整備し、各種相談事業、訪問事業の展開を図ります。	特別支援サポートセンター	実施	→	→	1－⑤
おはなし隊派遣事業	幼稚園や保育所などに対して、本の貸出しやボランティアで読み聞かせを行う「おはなし隊」を派遣し、子育て支援等を行います。	図書館	実施	→	→	1－⑥

◆第4項 米原っ子を育てる指導者の育成支援

①教育センターの充実 ②保育所・幼稚園・学校の連携

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23年度	H24年度	H25年度	
教育センター事業	経験や職務に応じた研修、各種の教育課題別研修講座、教育研究奨励事業などの実施により、教職員の資質向上に取り組みます。	教育センター	実施	→	→	
保・幼・小・中連携教育推進事業	体験入学の実施や保・幼・小・中の連携による研修会の実施に取り組みます。	学校教育課	実施	→	→	

◆第5項 みんなで子どもを支える

①相談支援体制の充実 ②地域で支える環境づくり

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23年度	H24年度	H25年度	
子どもサポート体制整備事業 【再掲】	ケアサポーター派遣や適応指導教室など、子どもサポート体制を整備し、各種相談事業、訪問事業の展開を図ります。	特別支援サポートセンター	実施	→	→	1－⑤
地域で子どもを支える活動支援事業	子ども会や PTA など地域の各種団体の子どもを支える活動を支援し、地域で支える環境づくりに取り組みます。	こども元気局	実施	→	→	1－⑦
			あいさつ運動	継続	継続	3－①

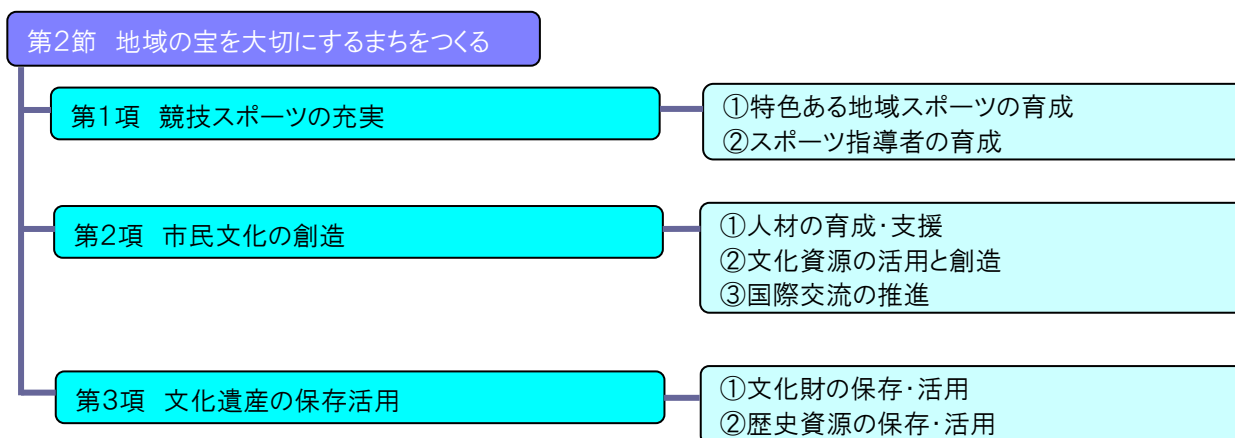


第1章

誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち

第2節 地域の宝を大切にするまちをつくる

《施策体系》



◆第1項 競技スポーツの充実

①特色ある地域スポーツの育成 ②スポーツ指導者の育成

数値目標 —現状値と平成25年度末の目標値—	<H20年度値>	<現状値>	<目標値>
夢高原かっつび伊吹の参加者数	1,179 人	924 人	1,000 人

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23年度	H24年度	H25年度	
競技スポーツチャレンジ支援事業	国際競技大会や国内競技大会などに出場する市民を支援します。	スポーツ振興室	実施 全国スポ少 ホッケー 交流大会ほか	→ 継続	→ 継続	1-⑦ 2-⑥
競技スポーツ大会開催支援事業	夢高原かっつび伊吹などの競技イベントの開催支援を行います。	スポーツ振興室	実施 かっつび伊吹、 西日本ホッケー大会	→ 継続	→ 継続	2-⑥

◆第2項 市民文化の創造

①人材の育成・支援 ②文化資源の活用と創造 ③国際交流の推進

数値目標 —現状値と平成25年度末の目標値—	<H20年度値>	<現状値>	<目標値>
特色あるまいばらの芸術展覧会 米原市民出品数	158 点	120 点	200 点
特色あるまいばらの芸術展覧会 市外出品数	99 点	137 点	150 点

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
文化芸術振興事業	市民交流プラザや公民館を中心とした文化芸術の事業展開を図り、市民の芸術感覚を育成します。	市民交流プラザ生涯学習課	実施	→	→	2－⑤
市民文化芸術活動支援事業	文化協会やルッチサポーターなど市民団体の文化活動支援を行い、まいばら文化人の育成を図ります。	生涯学習課	実施	→	→	
特色ある芸術展覧会開催事業	美術部門（立体・平面など）と音楽部門（作曲作詞）を設けた複合的な特色ある芸術展覧会を開催します。	生涯学習課	実施	→	→	
国際交流推進事業	◇外国語教育推進事業 小学校への MGT、ALT の設置により、異文化理解などの国際理解の向上を目指します。 ◇国際協力活動支援事業 JICA（国際協力機構）などボランティアで派遣する国際協力活動に対し、市民の参加に対する呼びかけを行います。	学校教育課 政策秘書課	実施	→	→	
			国際協力活動の周知・参加への呼びかけなど	継続	継続	

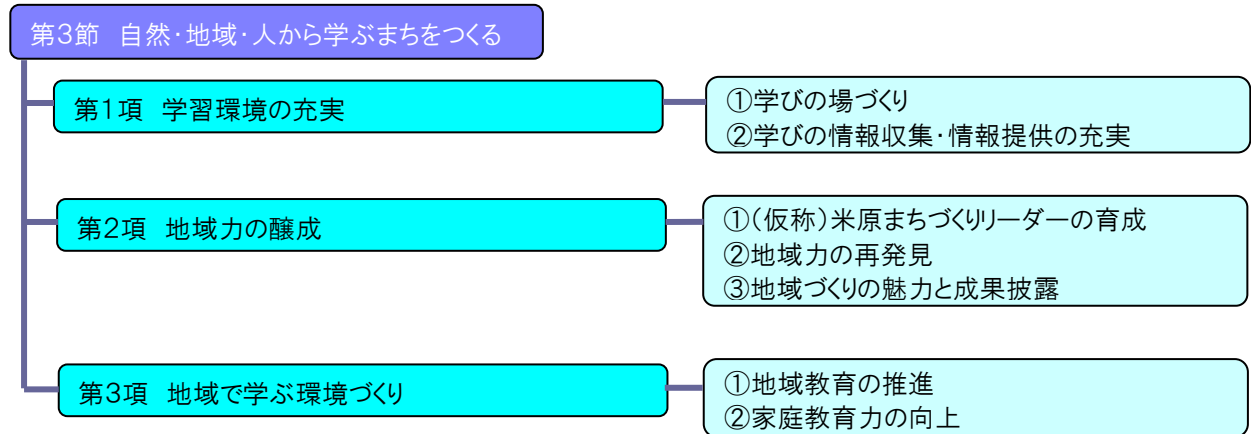
◆第3項 文化遺産の保存活用

①文化財の保存・活用 ②歴史資源の保存・活用

数値目標 —現状値と平成 25 年度末の目標値—	<H20 年度値>	<現状値>	<目標値>
歴史講座受講者数	90 人	90 人	100 人

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
文化財保護保存活動事業	京極氏遺跡などの市内文化財の調査や章斎文庫文庫調査を進めるとともに、保護保存のための整備に取り組みます。	歴史・文化財保護室	実施	→	→	
			京極氏遺跡発掘基礎調査 章斎文庫調査	継続	継続	2－⑥ 1－④
文化財保護活動支援事業	文化財の大切さの認識を深めるために、歴史講座の開催や文化財保護活動への支援を行います。	歴史・文化財保護室	実施	→	→	1－④
文化財情報発信事業	資料館を活用した企画展や歴史講座などを実施し、文化財情報を市内外へ PR し、豊富な歴史資源を後世に引き継ぎます。	歴史・文化財保護室	実施	→	→	1－④
奥伊吹の山村集落群調査事業	地域の自然・歴史・生活・生業などの特性を総合的に調査した上で、文化的景観保存計画を策定し、山村集落群の整備・保存を進めます。	歴史・文化財保護室 水源の里振興室	実施	→	→	
			計画策定基礎調査	継続	文化的景観保存計画策定	2－⑧

《施策体系》



◆第1項 学習環境の充実

①学びの場づくり ②学びの情報収集・情報提供の充実

数値目標 —現状値と平成 25 年度末の目標値—	<H20 年度値>	<現状値>	<目標値>
市民一人当たりの図書館図書貸出冊数	13.69 冊	13.79 冊	14.44 冊
生涯学習まちづくり出前講座年間実施回数	147 回	166 回	130 回

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
学びの場づくり推進事業	市民交流プラザや公民館などを拠点とし、市民の生涯学習のための学びの場づくりに取り組めます。	市民交流プラザ 生涯学習課	実施	→	→	
学びの情報収集・情報提供推進事業	市政等情報の共有を図るため、身近なところに職員等を派遣し、出前講座を実施します。	生涯学習課	実施	→	→	
	市民の知りたい、的確な学びの情報が提供できる図書館づくりに取り組めます。また、市民の利便性の向上のため、山東図書館および近江図書館のシステム統合を図ります。	図書館	実施完了 (H21 年度) 図書館システム統合	→	→	6—③

◆第2項 地域力の醸成

①(仮称)米原まちづくりリーダーの育成 ②地域力の再発見 ③地域づくりの魅力と成果披露

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23年度	H24年度	H25年度	
まちづくりリーダー育成事業	まちづくり市民大学「ルッチ大学」などを開設し、まちづくりリーダーの人材育成を図り、協働のまちづくりを目指します。	生涯学習課	実施	→	→	
			大学第6期開講	継続	大学第7期開講	3-⑤
			大学院第5期開講	継続	大学院第6期開講	3-⑤

◆第3項 地域で学ぶ環境づくり

①地域教育の推進 ②家庭教育力の向上

数値目標 —現状値と平成25年度末の目標値—	<H20年度値>	<現状値>	<目標値>
地域で子どもを支える活動助成団体数	3 団体	4 団体	4 団体(H21 終了)

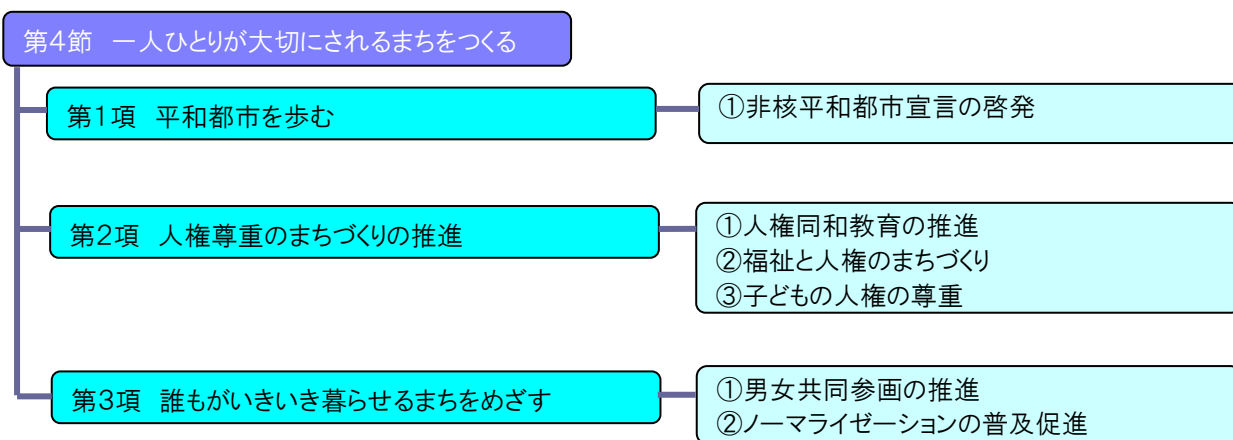
推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23年度	H24年度	H25年度	
まなびサポーター事業	市民が指導者となって市民の学習機会や学校活動の場で活躍できる環境などを創設することにより、生涯学習の推進や地域課題の解決に向けた市民活動を推進します。	生涯学習課	実施	→	→	
			研修会開催	継続	継続	3-⑤
地域で学ぶ市民活動推進事業(地域活動支援事業)	地域における自主的な子どもの育ちを支える環境づくりを支援します。	生涯学習課	実施完了 (H21年度) 4団体			
ふるさとの自然から学ぶ学校教育事業	地域に愛着と誇りを持てる子どもを育むため、ふるさとの自然を体感する事業を学校教育に取り入れます。	学校教育課	実施	→	→	
			伊吹山に登ろう事業	継続	継続	1-③ 1-④
			ふるさとを描こう事業	継続	継続	1-③
			みんなで本を読もう事業	継続	継続	1-⑥

第1章

誇りといきがいと笑顔で紡ぐ心豊かなまち

第4節 一人ひとりが大切にされるまちをつくる

《施策体系》



◆第1項 平和都市を歩む

①核平和都市宣言の啓発

数値目標 —現状値と平成 25 年度末の目標値—	<H20 年度値>	<現状値>	<目標値>
平和祈念式典参加者数	400 人	420 人	350 人

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
非核平和都市宣言啓発事業	非核平和を宣言した都市として市民の士気の高揚を図るための啓発や、他市などと連携した活動を進めます。	総務課	実施	→	→	
平和祈念式典開催事業	戦没者の追悼ならびに恒久平和を祈念する式典を開催します。	社会福祉課	実施	→	→	

◆第2項 人権尊重のまちづくりの推進

①人権同和教育の推進 ②福祉と人権のまちづくり ③子どもの人権の尊重

数値目標 —現状値と平成 25 年度末の目標値—	<H20 年度値>	<現状値>	<目標値>
人権教育リーダー養成講座受講者数	249 人	245 人	250 人
人権尊重と部落解放をめざす市民のつどい参加者数	238 人	380 人	300 人
ハートフルフォーラム(地域学習会)参加者数	2,048 人	2,797 人	2,300 人

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
人権教育リーダー養成事業	地域ぐるみの教育啓発活動を継続的に実施し、充実した内容を展開するための人権リーダーを育成します。	生涯学習課	実施	→	→	

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
人権教育啓発推進事業	ハートフルフォーラム(地域学習会)の開催や企業・事業者を対象とした訪問活動を通じて、人権教育・啓発を推進するとともに、差別の解消に向けた研修の実施や各分野での人権学習活動を支援します。	人権政策課 生涯学習課 商工観光課	実施	→	→	
			相談所設置等	継続	継続	
外国人 인권 対策事業	国籍や民族などの異なる市民が、互いの文化・習慣の違いを認め合い対等な関係を築き、地域社会の構成員として共に生きていく「多文化共生社会」の実現に向けて取り組みます。	人権政策課	実施	→	→	
			基本方針策定・完了(H21 年度)			
			通訳配置 国際協会設置検討			
市民のつどい開催事業	差別を許さない地域社会を目指して、交流と連帯を深める市民のつどいを開催します。	人権政策課	実施	→	→	

◆第3項 誰もがいきいき暮らせるまちをめざす

①男女共同参画の推進 ②ノーマライゼーションの普及促進

数値目標 —現状値と平成 25 年度末の目標値—	<H20 年度値>	<現状値>	<目標値>
「男性は仕事、女性は家庭というような固定的な男女の役割分担意識」にとらわれない人の割合	— (調査未実施)	— (調査未実施)	60.00 %
市が設置する審議会等のうち女性委員が3割以上の審議会等の比率	57.10 %	58.90 %	64.00 %

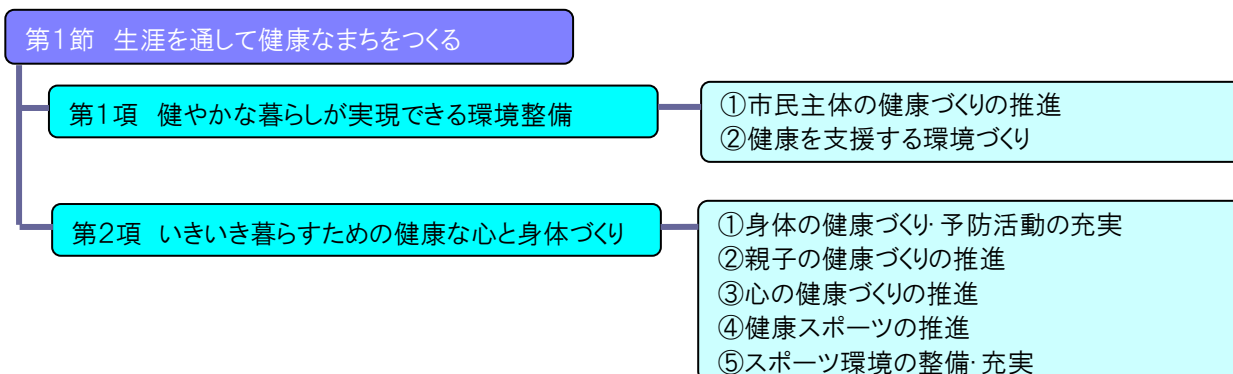
推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
男女共同参画推進事業	平成 19 年度に策定した市男女共同参画推進計画に基づき、「男女共同参画社会の実現」を図るための事業推進に取り組みます。また、平成 24 年度以降の新たな計画策定に向けて、引き続き取り組みます。	人権政策課	実施	→	→	
			男女共同参画推進計画策定	男女共同参画推進計画進ちょく管理	継続	6—⑤
			実践モデル地区指定(4 地区)	継続	継続	

第2章

市民の絆で築く心と体の健康なまち

第1節 生涯を通して健康なまちをつくる

《施策体系》



◆第1項 健やかな暮らしが実現できる環境整備

①市民主体の健康づくりの推進 ②健康を支援する環境づくり

数値目標 —現状値と平成 25 年度末の目標値—	<H20 年度値>	<現状値>	<目標値>
ヘルスアップファシリテータの養成者数(累計)	18 人	100 人	160 人(H23 終了)

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
市民の健康づくり活動拠点事業	市内保健センターを市民の健康づくり活動拠点として、センター事業の展開を図ります。	健康づくり課	実施 拠点施設管理運営	→ 継続	→ 継続	
健康づくりリーダー人材育成事業	市民の健康づくり活動を地域で展開できる人材(健康推進員など)の育成に取り組みます。	健康づくり課	実施 ファシリテータ養成・完了	→	→	
食育プラン推進事業	食育計画を策定し、市民一人一人が食に関する知識と選択する力を育て、健やかな心と体づくりを目指し、生涯を通じた食育の推進に取り組みます。	健康づくり課 水源の里振興室	実施 計画策定・完了(H20 年度)	→	→	
			進ちょく管理 子ども食育教室開催等	継続	継続	1-⑦
			食への感謝のつどい開催	継続	継続	
「健康まいばら 21」推進事業	市民一人一人が健康についての意識を高め、自らが健康づくりに取り組むことができる環境づくりのための指針「健康まいばら 21」を策定するとともに、平成 24 年度に中間評価結果に基づき、計画見直しを行います。	健康づくり課	実施 計画策定・完了(H20 年度)	→	→	
			進ちょく管理	継続	継続	
			中間評価準備	中間評価および計画見直し		

◆第2項 いきいき暮らすための健康な心と身体づくり

- ①身体・健康づくり・予防活動の充実 ②親子の健康づくりの推進 ③心の健康づくりの推進 ④健康スポーツの推進
⑤スポーツ環境の整備・充実

数値目標 —現状値と平成 25 年度末の目標値—	<H20 年度値>	<現状値>	<目標値>
市民の健康診断の受診割合(年1回以上)	32.20 %	42.00 %	50.00 %
地域ぐるみの健康づくり活動実践自治会数	1 自治会	1 自治会	12 自治会(H23 終了)
まいばら健康手帳の活用者数	770 人	1,378 人	5,000 人
鴨の里ふれあいマラソンの米原市民参加者数 (H20 年度末で廃止いきいき健康ウォークへ移行)	702 人	— 人	1,000 人(H20 終了)
いきいき健康ウォークの参加者数(H21 年度から)	— 人	225 人	500 人

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
市民の健康チェック・サポート事業	新たな特定健診導入を踏まえた質の高い各種健診・保健指導の体制整備に取り組み、生活習慣病の早期発見や予防・改善につなげることで市民の健康づくりをサポートします。	健康づくり課 福祉支援局 保険課	実施	→	→	
			禁煙教室 開催等	継続	継続	
			肺がん検診の 導入	継続	継続	
地域健康づくり事業	個々の健康状態を把握する地域の取組を支援し、一人一人に応じた保健・体力アップ指導により、市民の健康意識の高揚を図ります。また、健康づくりをテーマとした健康カレッジを開設し、健康づくりを体験・実践できる各種講座を開催します。	健康づくり課 福祉支援局 保険課 生涯学習課	実施	→	→	
			地域健康づくり 事業(モデル4 地区)・完了			
			健康カレッジ 講座開催	継続	継続	3-②
市民の健康・体力増進マネジメント事業	スポーツアドバイザーや体育指導委員の活動を通して、市民の健康づくり・スポーツ活動を推進します。	スポーツ振興室	実施	→	→	3-③
			カヌー体験 イベント開催	継続	継続	
市民の健康づくり活動団体支援事業	総合型地域スポーツクラブや体育協会をはじめ各種団体に支援することにより、市民の健康・体力づくりの活動をサポートします。	スポーツ振興室	実施	→	→	2-⑥ 3-③
市民の健康づくり・体力づくりイベント開催支援事業	市民の健康・体力づくりのためのイベント開催を支援します。	スポーツ振興室	実施	→	→	
			いきいき健康 ウォーク開催	継続	継続	2-⑥ 3-③

第2章

市民の絆で築く心と体の健康なまち

第1節 生涯を通して健康なまちをつくる

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
体育施設整備事業	市のスポーツ施設の在り方を検討し、計画的な体育施設の施設整備に取り組みます。また、新グラウンドについては、早急に整備を行います。	スポーツ振興室 教育総務課	実施 新グラウンド造成工事、三友グラウンド照明等撤去工事・完了	完了		3-④
			(財)伊吹山麓青少年育成事業団の在り方検討・方針決定	方針に基づく対応		
インフルエンザ対策事業	季節性インフルエンザおよび世界的に猛威を奮った新型インフルエンザへの感染予防対策の一環として、ワクチン接種助成を行います。	健康づくり課	実施	→	→	
			高齢者向け予防接種助成（年齢に応じた助成）	継続	継続	3-⑧
			高齢者の生保受給および非課税世帯向け予防接種助成（無料）	継続	継続	3-⑧
幼稚園・小中学校施設整備事業 【再掲】	老朽化が著しい双葉体育館と近江体育館を統合し、新たな教育施設として（仮称）新双葉中体育館の早期整備に取り組みます。	スポーツ振興室 教育総務課	実施 双葉中体育館建設設計・工事	完了 双葉中体育館建設工事、双葉体育館解体撤去工事・完了		3-④



第2章

市民の絆で築く心と体の健康なまち

第2節 子育て世代が定住したいまちをつくる

《施策体系》

第2節 子育て世代が定住したいまちをつくる

第1項 健全な発育を促す

- ①子ども疾患の未然予防
- ②子どもの成長発達の支援

第2項 子育てと子育て環境の整備

- ①就学前保育・教育の充実
- ②子ども支援の充実
- ③子育て環境基盤の充実
- ④保育園・幼稚園における子育て支援の充実
- ⑤地域で支え合う子育て環境の整備

◆第1項 健全な発育を促す

①子ども疾患の未然予防 ②子どもの成長発達の支援

数値目標 —現状値と平成 25 年度末の目標値—	<H20 年度値>	<現状値>	<目標値>
乳幼児、児童の予防接種率	85.10 %	88.80 %	90.00 %
乳幼児健診受診率	91.70 %	95.10 %	96.00 %
妊婦健診の受診率	99.10 %	99.00 %	99.00 %

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
子どもの疾病の予防	感染症の予防を行うため、安定的な接種機会の確保を行います。また、13 歳から 16 歳の女子に接種を行うと大きな効果が期待される子宮頸がんワクチンや、乳幼児期に接種を行うことにより重症化の予防が図れる Hib(ヒブ)ワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種を開始します。	健康づくり課	実施	→	→	
			麻しん・風しん予防接種(第3期・第4期)	継続・完了		3-⑧
			日本脳炎予防接種	継続	継続	3-⑧
			子宮頸がんワクチン接種	継続	継続	3-⑧
			Hib(ヒブ)ワクチン接種	継続	継続	3-⑧
子どもの成長発達と親子の健康づくりの支援	妊娠中からの健康管理を充実させることにより、早期から生活習慣病の予防を行うとともに、安全・安心な出産と適切な育児支援を行い、子どもの健全な成長・発達を促します。	健康づくり課	実施	→	→	
			乳幼児健診、育児相談の実施	継続	継続	
			特定不妊治療費助成	継続	継続	3-⑨
			妊婦健康診査費の助成、健康相談の実施	継続	継続	3-⑨

◆第2項 子育てと子育て環境の整備

- ①就学前保育・教育の充実 ②子ども支援の充実 ③子育て環境基盤の充実
④保育園・幼稚園における子育て支援の充実 ⑤地域で支え合う子育て環境の整備

数値目標 ―現状値と平成 25 年度末の目標値―		<H20 年度値>	<現状値>	<目標値>
放課後安心プラン実施箇所数	放課後児童クラブ	11 か所	10 か所	10 か所
	放課後キッズ	1 か所	3 か所	4 か所
まいちゃん子育て応援隊登録事業所数		118 社	142 社	150 社

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
次世代育成支援対策推進事業	次世代育成支援行動計画に基づき、地域の子育て支援、親子の健康の確保、教育環境の充実などの目標達成に向けて取り組みます。	こども元気局	実施	→	→	
			後期計画 進ちょく管理	継続	継続	1－⑤
幼保一元化推進事業 【再掲】	平成 19 年度に開園したいぶき認定こども園の検証を行った上で、幼稚園と保育所の双方の機能の良さを活かし、0 歳児から 5 歳児までの子どもの育ちを一貫して支えるシステムづくりや子育て家庭への支援を行うための幼保一元化に取り組みます。	幼児教育室 学校教育課 教育総務課	実施	→	→	
			こども園対象施設の調査・検討・完了 (H21 年度)			1－②
			幼保一元化推進プラン策定・完了 (H21 年度)			1－②
地域で支える子育て支援事業	子育て支援ボランティアの育成や企業の子育て支援(まいちゃん子育て応援隊)への取組の促進、子育てサロンなど地域の子育て支援に取り組みます。	こども元気局	(仮称)ふたば認定こども園施設整備協議	継続・完了	施設整備	1－②
			実施	→	→	
			子育て支援センター設置	継続	継続	1－⑤
放課後安心プラン事業	留守家庭の児童を預かる放課後児童クラブ事業と、だれでも参加できる放課後キッズ事業を市民協働で連携して実施し、地域にあった安全で安心して過ごせる放課後の居場所づくりに取り組みます。	こども元気局	企業子育て支援制度啓発	継続	継続	
			思いやり駐車スペース設置	継続	継続	
			実施	→	→	
放課後安心プラン事業		こども元気局	放課後児童クラブ (10 か所)	継続	継続	1－②
			放課後キッズ事業 (4 か所)	放課後キッズ事業 (4 か所)	継続	1－②
保育サービス推進事業	延長保育や低年齢児保育、病後児保育の実施など、子育て市民の目線に応じた保育サービスの充実を図ります。	幼児教育室	実施	→	→	
			幼保一元化推進プラン策定・完了 (H21 年度)			1－②

第2章

市民の絆で築く心と体の健康なまち

第2節 子育て世代が定住したいまちをつくる

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
障がいのある子どもなどへの支援事業	年齢、発達段階、障がいの内容などに応じた療育の場を確保し、継続的な支援を行います。	こども療育センター	実施	→	→	
子ども家庭サポートセンター事業	子育てや教育、若者自立支援などの相談、支援活動や関係機関との連携を図ります。	子ども家庭サポートセンター	実施	→	→	1－①
子ども家庭支援ネットワーク事業(要保護児童対策地域協議会事業)	関係機関との協力体制により、虐待、非行、不登校、発達障がいなどの要保護児童の早期発見と早期対応を行うとともに、家庭への適切な支援を実施します。	子ども家庭サポートセンター	実施	→	→	1－①

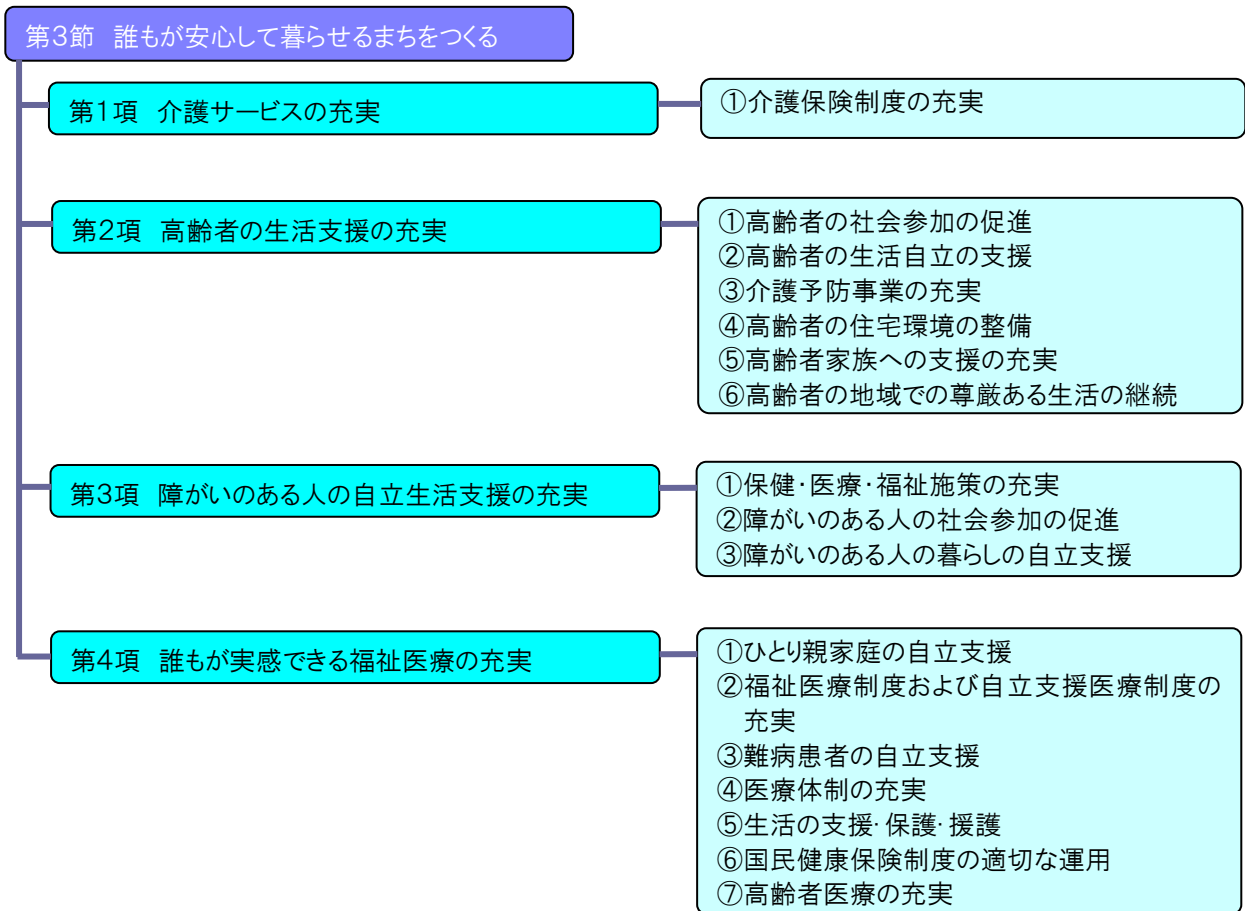


第2章

市民の絆で築く心と体の健康なまち

第3節 誰もが安心して暮らせるまちをつくる

《施策体系》



◆第1項 介護サービスの充実

①介護保険制度の充実

数値目標 ―現状値と平成 25 年度末の目標値―	<H20 年度値>	<現状値>	<目標値>
介護予防運動サポーター養成講座受講者数	0 人	0 人	0 人(H20 終了)
認知症住民学習会参加者数	380 人	660 人	1,000 人

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
介護保険等事業計画推進事業	平成 20 年度見直しを行った介護保険事業計画に基づき、各種介護保険事業を推進するとともに、新たに計画の見直しを行います。また、生活圏域を単位とした地域介護体制の整備として、グループホームなどの整備を行います。	高齢福祉課	実施	→	→	
			グループホーム等施設整備補助・完了			3-⑩
			制度改正に伴うシステム改修(随時)	継続	継続	3-⑩
			介護保険計画進捗管理いきいき高齢者プランまいばら(第5期介護保険事業計画)策定・完了	継続	継続	3-⑩

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
地域包括支援センター事業	高齢者の心身の健康保持や生活の安定のために必要な援助を包括的に支援することを目的とした地域包括支援センターを設置し、総合的な相談体制とサービスの提供に取り組みます。	福祉支援局	実施	→	→	

◆第2項 高齢者の生活支援の充実

- ①高齢者の社会参加の促進 ②高齢者の生活自立の支援 ③介護予防事業の充実
④高齢者の住宅環境の整備 ⑤高齢者家族への支援の充実 ⑥高齢者の地域での尊厳ある生活の継続

数値目標 —現状値と平成 25 年度末の目標値—	<H20 年度値>	<現状値>	<目標値>
高齢者の老人クラブへの加入割合(60 歳以上人口に対する割合)	61.79 %	55.60 %	65.00 %
特定高齢者訪問指導年間延べ利用者数	118 人	85 人	100 人

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
権利擁護事業	認知症高齢者、虐待を受けている高齢者の権利擁護事業に取り組みます。	福祉支援局	実施	→	→	
家族介護継続支援事業	認知症高齢者徘徊探知サービスや介護用品支給、家族介護者交流など、家族介護の支援に取り組みます。	高齢福祉課	実施 地域なじみの安心事業	→ 継続	→ 継続	
福祉用具・住宅改修支援事業	高齢者の住宅環境の改善のため、福祉用具や住宅改修の指導・助言と助成制度に取り組みます。	高齢福祉課	実施	→	→	3-⑩
高齢者生きがい対策事業	高齢者の生きがいづくりと社会参加促進のため、老人クラブやシルバー人材センターなどへの支援に取り組みます。	高齢福祉課	実施	→	→	3-⑤
高齢者生活支援事業	配食、寝具洗濯乾燥消毒、外出支援、除雪、バス乗車助成など高齢者が安心して生活できる福祉サービスに取り組みます。	高齢福祉課 社会福祉課	実施	→	→	

第2章

市民の絆で築く心と体の健康なまち

第3節 誰もが安心して暮らせるまちをつくる

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
地域ネットワーク事業	支援の必要な高齢者の見守りや認知症、高齢者虐待の早期発見、緊急時の対応などについて、地域、事業者、行政の協働で高齢者等を支援するネットワーク構築に取り組めます。	福祉支援局 高齢福祉課	実施	→	→	
			災害時 要援護者 名簿更新	継続	継続	5-①
			絆バトン(医療 情報キット)配 布	継続	継続	3-⑩
特定高齢者介護 予防事業	虚弱高齢者の生活機能の維持・向上のための介護予防を必要とする高齢者の把握や、通所型介護予防事業、訪問指導事業に取り組めます。	福祉支援局	実施	→	→	
			リハビリ ステーションの 在り方検討			3-⑧

◆第3項 障がいのある人の自立生活支援の充実

①保健・医療・福祉施策の充実 ②障がいのある人の社会参加の促進 ③障がいのある人の暮らしの自立支援

数値目標 —現状値と平成 25 年度末の目標値—	<H20 年度値>	<現状値>	<目標値>
障がい福祉施設入所から地域生活への移行者数	0 人	0 人	4 人
福祉的就労から一般就労への移行者数	2 人	0 人	5 人
手話通訳講座修了者数(累計)	16 人	10 人	68 人

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
障がい者計画等 推進事業	新法の動向に注視しつつ、障害者基本法や障害者自立支援法に基づく自立支援の施策を計画的に取り組めます。	社会福祉課	実施	→	→	
			各計画 進捗(管理 障がい者 計画・第2期 障がい福祉 計画策定	継続	継続	3-⑩
相談支援事業	相談窓口を充実し、福祉サービスや専門的な相談・助言・情報提供を行います。	福祉支援局	実施	→	→	
移動支援事業	自動車燃料や福祉タクシー利用、自動車改造、バス利用、外出支援などの助成を行い、障がい者の移動、社会参加の支援を行います。	社会福祉課	実施	→	→	
コミュニケーション 支援事業	手話通訳者を窓口を設置するとともに、手話・要約筆記者の派遣、点字や音の広報発行など、コミュニケーションの広がりに取り組めます。	社会福祉課	実施	→	→	
			手話通訳者 窓口設置	継続	継続	
			CATV 手話通訳	継続	継続	

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
ボランティア育成事業	社会福祉協議会などと連携協力し、手話、要約筆記、音訳などの人材育成に取り組むとともに地域ボランティアの組織化、支援の仕組みづくりに取り組みます。	社会福祉課	実施	→	→	
日常生活用具給付事業	介護・訓練支援用具や自立生活支援用具など、日常生活上の便宜を図るための給付・貸与を行います。	社会福祉課	実施	→	→	
地域活動支援センター事業	精神障害者地域活動支援センター「そら」などで、創作的活動や生産活動の機会を提供し、社会の交流促進に取り組みます。	社会福祉課	実施	→	→	
在宅生活支援事業	配食サービスや住宅改造、介護用品支給、訪問入浴など、障がい者の在宅生活を支援します。	社会福祉課	実施	→	→	
日中一時支援事業	障害者支援施設などで、特に障がい児の日中活動の場確保と日常生活の必要な訓練等を行います。	社会福祉課	実施	→	→	
			4事業所で実施	継続	継続	
地域活動支援事業	ノーマライゼーションの実現に向けた取組の一環としてスポーツ教室等を開催し、障がい児(者)の自立と社会参加の促進に取り組みます。	社会福祉課	実施	→	→	
			水泳教室開催ほか	継続	継続	
ワークスさかた移転推進事業	福祉的就労の場として設置されているワークスさかたは、施設の老朽化が著しく、また手狭となっていることから、移転整備を図ります。	社会福祉課	実施	完了		3-⑩
			用地選定等	施設整備補助		
グループホーム施設整備事業	施設・病院から地域生活への移行を促進するため、日中活動の場を整備するとともに、グループホームなどの整備を促進します。	社会福祉課	実施完了			3-⑩
			山東地域への施設整備補助			
生活支援事業	生活保護被保護者の経済的、社会的自立を図るため、就労支援員を配置し、就労支援を行います。	社会福祉課	実施	→	→	
			就労支援員配置	継続	継続	

第2章

市民の絆で築く心と体の健康なまち

第3節 誰もが安心して暮らせるまちをつくる

◆第4項 誰もが実感できる福祉医療の充実

- ①ひとり親家庭の自立支援 ②福祉医療制度および自立支援医療制度の充実 ③難病患者の自立支援
④医療体制の充実 ⑤生活の支援・保護・援護 ⑥国民健康保険制度の適切な運用 ⑦高齢者医療の充実

数値目標 —現状値と平成 25 年度末の目標値—	<H20 年度値>	<現状値>	<目標値>
特定健診の受診率	46.10 %	43.80 %	65.00 %
特定保健指導の実施率	56.60 %	76.80 %	70.00 %

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
福祉医療費助成事業	精神・身体障がい者(1・2 級)、母子・父子家庭、乳幼児(就学前)、小中学生など医療費の全額または一部を助成し、保健の向上と福祉の増進に取り組みます。	保険課	実施	→	→	
			制度見直しの検証	継続・完了		
特定健診・特定保健指導事業	地域特性や健康課題を踏まえた上で、メタボリックシンドロームに視点を置いた健診と保健指導に取り組みます。	保険課	実施	→	→	
			特定健診 特定保健指導	継続	継続	
後期高齢者医療事業	国の医療制度改革の一環として、「老人保健医療制度」に代わる「後期高齢者医療制度」が平成 20 年度から創設され、取り組んでいるところですが、本制度は平成 24 年度で廃止されるため、国が進めている新たな制度へ円滑に移行できるよう取り組みます。	保険課	実施	→	→	
			制度改正に伴うシステム改修(随時)	継続・完了		
医療・保健体制の充実	各医療機関との連携と機能分化による地域医療体制の充実に取り組みます。	健康づくり課	実施	→	→	3—⑨
			長浜米原休日 急患診療所 運営維持	継続	継続	



第2章

市民の絆で築く心と体の健康なまち

第4節 地域の絆で支えるまちをつくる

《施策体系》

第4節 地域の絆で支えるまちをつくる

第1項 地域で見守る環境をつくる

- ①民生委員児童委員の充実
- ②市民主体の地域福祉
- ③世話人制度の創設

◆第1項 地域で見守る環境をつくる

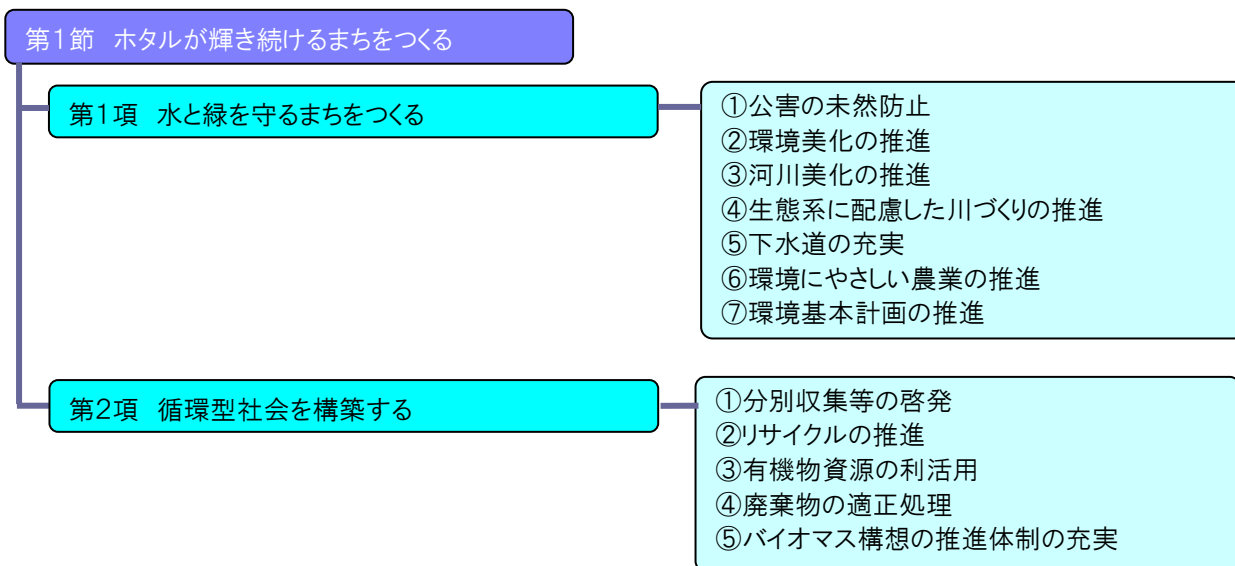
①民生委員児童委員の充実 ②市民主体の地域福祉 ③世話人制度の創設

数値目標 —現状値と平成 25 年度末の目標値—	<H20 年度値>	<現状値>	<目標値>
結婚相談事業を通じた年間婚姻成立件数	3 件	3 件	5 件

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
社会福祉協議会等支援事業	地域福祉において中心的な役割を担う社会福祉協議会など各種団体の支援を行います。	福祉支援局	実施	→	→	
心配ごと相談事業	生活上の問題や困りごとの解決に向けて、法律の専門家や民生委員児童委員、各種専門委員とともに心配ごと総合相談を実施していきます。	福祉支援局	実施	→	→	
			相談所設置	継続	継続	
結婚相談事業	未婚者への結婚相談や、世話人制度による結婚支援を行います。	商工観光課	実施	→	→	
地域福祉計画策定推進事業	関係機関、団体などと地域で支え合う仕組みとして、地域福祉計画を策定します。	福祉支援局		実施	完了	
				計画策定 基礎調査	地域福祉 計画策定	3-⑩



《施策体系》



◆第1項 水と緑を守るまちをつくる

- ①公害の未然防止 ②環境美化の推進 ③河川美化の推進 ④生態系に配慮した川づくりの推進
⑤下水道の充実 ⑥環境にやさしい農業の推進 ⑦環境基本計画の推進

数値目標 —現状値と平成 25 年度末の目標値—	<H20 年度値>	<現状値>	<目標値>
下水道を利用できる市民の割合(普及率)	97.90 %	99.30 %	99.30 %(H22 終了)
下水道を利用している市民の割合(水洗化率)	80.30 %	82.30 %	84.20 %
環境こだわり農産物認証面積	176.1 ha	177.3 ha	265.0 ha
環境フォーラム参加者数 (※ H18 名称は環境集会)	181 人	151 人	300 人

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
水洗化促進事業	水質保全と快適な生活環境の実現のため、下水道整備や合併浄化槽設置など、全市水洗化に向けて取り組みます。	上下水道課	実施	→	→	
			整備工事・完了 (H22 年度)			
			接続啓発	継続	継続	
環境リーダー育成事業	家庭版環境活動チェックリストの作成をはじめ、継続的な普及・啓発活動を行うことにより、環境リーダーを育成し、市民主体の取り組みを支援します。	環境保全課	実施	→	→	
			普及・啓発	継続	継続	
	環境フォーラムの開催、出前講座による普及・啓発の継続的な実施や、自治会単位での環境保全活動や環境教育の推進に取り組みます。	環境保全課	実施	→	→	
			フォーラム開催(毎年)	継続	継続	

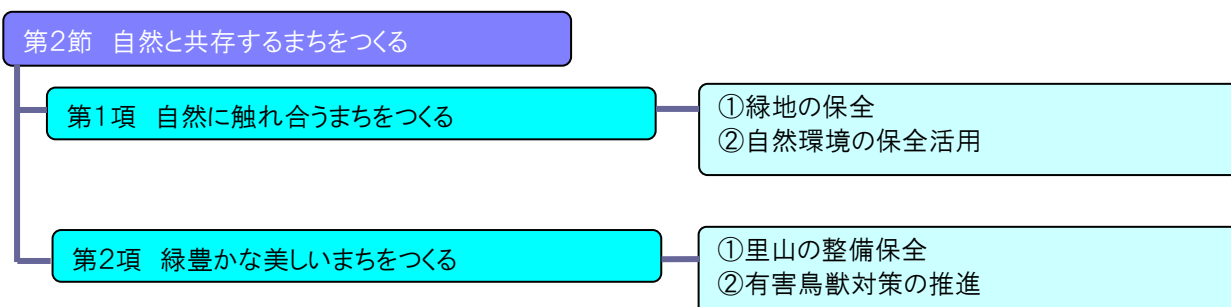
推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
美化対策推進事業	まちのシンボル「ホテル」の保護活動、不法投棄監視パトロール、米原市琵琶湖一斉清掃事業などを通して、美化活動の推進に取り組めます。	環境保全課	実施	→	→	
			清掃活動・監視パトロール等 美化条例制定・完了 (H22 年度)	継続	継続	2-⑦
米原式環境保全型農業推進事業	農業使用を抑えた環境こだわり農業を進め、「ゆめいぶき」などの有機堆肥を使用した環境保全型農業を推進します。	農林振興課 環境保全課	実施	→	→	
			「ゆめいぶき」製造販売	継続	継続	2-⑧
環境基本計画推進事業	環境基本条例に基づき、環境基本計画を策定し、環境の保全および創造に関する施策の総合的で計画的な推進を図ります。	環境保全課	実施	→	→	
			実施計画ローリング	継続	継続	
環境にこだわる公共交通	ノーマイカーの推進やワンコインエコパスの利用、観光イベントでのエコ交通の推進など車社会を見直し、環境にやさしい公共交通への転換を促進します。	環境保全課 市民安全課 商工観光課	実施	→	→	
公害防止対策事業	米原市公害防止条例に基づき、市の責務として公害の未然防止に努めるため、市内事業所に対して工場排水などの調査を継続的に実施します。	環境保全課	実施	→	→	
			水質・土壌調査等	継続	継続	
地球温暖化対策推進事業	市役所が取り組む「地球温暖化対策実行計画」を市内全域の活動へと広げ、温室効果ガスの削減に向けた計画的な取組を実行します。	環境保全課	実施	→	→	
			地球温暖化対策実行計画の運用	継続	継続	2-⑦

◆第2項 循環型社会を構築する

- ①分別収集等の啓発 ②リサイクルの推進 ③有機物資源の利活用 ④廃棄物の適正処理
⑤バイオマス構想の推進体制の充実

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
リサイクル推進事業	資源ごみ回収やリサイクルステーションの運営、コンポスト地域運営(5 自治会)などの支援を行い、循環型社会の構築を目指します。	環境保全課	実施	→	→	
バイオマスタウン構想推進事業	バイオマスタウン構想に基づき、農業集落排水汚泥等を堆肥化するコンポストセンターの取組や実証、さらには廃食用油の再資源化検討など、未利用バイオマスの資源化について検討します。	環境保全課	実施	→	→	
			山東地域の農集排汚泥搬入 (H22 年度) 廃食用油の再資源化に向けた検討	継続	継続	2-⑦

《施策体系》



◆第1項 自然に触れ合うまちをつくる

①緑地の保全 ②自然環境の保全活用

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23年度	H24年度	H25年度	
緑の基本計画策定推進事業	緑地保全、緑化の推進に関する基本計画を策定し、計画的な整備に取り組みます。	都市計画課	実施	→	→	
			計画策定・完了(H19年度) 進ちょく管理	継続	継続	
伊吹山・霊仙山保護事業	伊吹山や霊仙山の登山道(遊歩道等)および避難小屋の維持管理を行い、登山者の安全を確保します。また、伊吹山頂および南斜面に繁茂するササなどの刈り取りを計画的に実施することにより、国天然記念物である花畑の保護に努めます。	環境保全課	実施	→	→	
			伊吹山地 草原植物 保護復元事業	継続	継続	2-⑦
農林水産体験実践事業	民家ステイ体験やグリーンツーリズムなどの農林水産業体験を実施し、市内外の交流による地域活性化に取り組みます。	商工観光課 農林振興課 水源の里振興室	実施	→	→	
			民家ステイ 体験の体制整備・受入れ	継続	継続	2-⑨

◆第2項 緑豊かな美しいまちをつくる

①里山の整備保全 ②有害鳥獣対策の推進

数値目標 —現状値と平成25年度末の目標値—	<H20年度値>	<現状値>	<目標値>
里山整備のための自治会との事業協定数	6 自治会	6 自治会	8 自治会
自治会との協定による年間の里山整備面積	15 ha	15 ha	20 ha

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
市民参加の森づくり事業(いのちを育む里山の保全)	県民参加の里山づくり事業や里山リニューアル事業など「市民の森づくり」活動を通して、市民や自治会、NPO による交流ネットワークの形成を進め、市民が自立して山林の保全に取り組める環境づくりを進めます。	農林振興課	実施	→	→	
			里山リニューアル事業	継続	継続	4ー④
			山守り事業・完了			4ー④
	森林病虫害防除や名松保護などの里山保全に取り組めます。また、近年鳥獣(イノシシ、ニホンザル、ニホンジカ、ハクビシン、カワウ、アオサギ)による農林水産物の被害が増加しているため、鳥獣被害防止計画を策定し、有害鳥獣対策に重点的に取り組めます。	農林振興課	実施	→	→	
			森林病虫害防除の実施	継続	継続	
			鳥獣被害防止計画の進捗管理	継続	鳥獣被害防止計画の見直し	4ー④
			鳥獣被害防止計画に基づく個体数管理等実施	継続	継続	4ー④
			集落環境点検実施(5か所)	継続	継続	4ー④

《施策体系》

第3節 田舎都市の原風景が広がるまちをつくる

第1項 暮らしやすい生活環境をつくる

- ①公園の整備と適正な維持管理
- ②駐輪・駐車場の整備と適正な維持管理
- ③農村集落の生活環境の整備

第2項 地域の良さを活かした風景を整備

- ①まちに馴染む風景づくり
- ②道路空間の創造
- ③景観形成作物の推奨

◆第1項 暮らしやすい生活環境をつくる

①公園の整備と適正な維持管理 ②駐輪・駐車場の整備と適正な維持管理 ③農村集落の生活環境の整備

数値目標 —現状値と平成 25 年度末の目標値—	<H20 年度値>	<現状値>	<目標値>
市民一人当たりの都市公園面積	1.02 m ²	1.02 m ²	1.10 m ²

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
緑の拠点(都市公園)整備事業	緑の総合的な方針「緑の基本計画」を策定し、計画的な都市公園や緑地などの整備を行います。	都市計画課	実施 緑の基本計画策定・完了(H19 年度)	→	→	3-③
駐輪場確保・維持管理事業	柏原駅、米原駅(西口)、醒ヶ井駅、坂田駅の 4 駅の市営駐輪場の適正な配置と維持管理を行います。また、米原駅東口駐輪場の整備などを行います。	都市計画課 米原駅周辺整備課	実施 各駐輪場維持管理 米原駅東口駐輪場整備・完了(H22 年度) 坂田駅駐輪場増設・完了(H22 年度)	→ 継続	→ 継続	
農地・水・環境保全向上対策事業	農道や用排水路など農業基盤を長持ちさせる取組を、農家だけでなく地域ぐるみで実施できるよう支援します。	農林振興課	実施完了 15 集落取組			
農道台帳整備事業	旧町ごとに整備された農道を再点検し、市の農道として一元管理できるよう台帳整備を行います。	農林振興課	実施完了			

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
農業関連施設整備事業	優良農地の確保および農村の生産・生活環境の整備を図るため、土地改良施設の適正な維持管理を行います。	農林振興課	実施	→	→	
			承水溝副堤防の再整備	継続	継続	2-⑦
			承水溝維持管理業務・完了			2-⑦
			小規模土地改良事業	継続	継続	
				大野木ため池整備設計	大野木ため池整備工事・完了	

◆第2項 地域の良さを活かした風景を整備

①まちに馴染む風景づくり ②道路空間の創造 ③景観形成作物の推奨

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
街なみ環境整備事業	ゆとりと潤いのある住宅地の形成のため、道路や集会所、公園等の地区施設や生活環境施設の整備を行います。また、柏原宿の街なみ保存を図るため、街づくり協定に沿った個人住宅の修景補助を行います。	都市計画課	実施	→	完了	
			柏原地区基盤整備・完了(H21 年度)			2-⑦
			個人住宅修景補助(2件)	個人住宅修景補助(1件)	個人住宅修景補助(1件)・完了	2-⑦
景観行政団体移行事務	米原市の貴重な景観を守り育てるために「景観計画」を策定し、景観行政団体に移行します。	都市計画課	実施	完了		
			計画策定基礎調査	計画策定		2-⑦
				景観行政団体への移行		2-⑦
					計画進捗よく管理	2-⑦

第3章

田舎都市が魅せるいやしのまち

第4節 子どもたちの未来につながるまちをつくる

《施策体系》

第4節 子どもたちの未来につながるまちをつくる

第1項 環境学習の推進

①環境のリーダー・組織の育成

第2項 環境に優しいエネルギー施策の取組み

①自然エネルギーの調査研究
②リサイクルエネルギーの活用

◆第1項 環境学習の推進

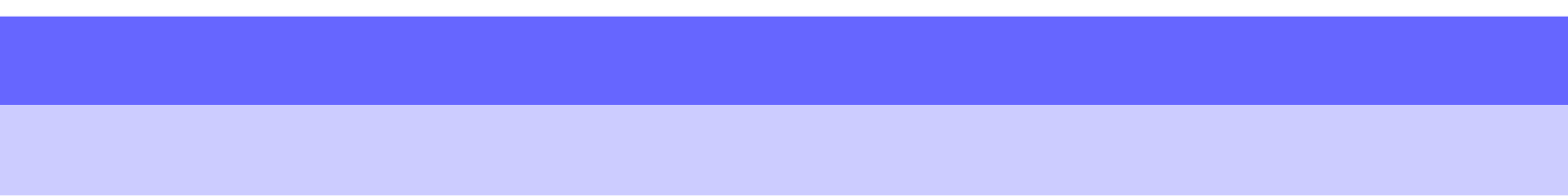
①環境のリーダー・組織の育成

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23年度	H24年度	H25年度	
環境リーダー育成事業	家庭版環境活動チェックリストの作成をはじめ、継続的な普及・啓発活動を行うことにより、環境リーダーを育成し、市民主体の取り組みを支援します。	環境保全課	実施	→	→	
			普及・啓発	継続	継続	
	【再掲】環境フォーラムの開催、出前講座による普及・啓発の継続的な実施や、自治会単位での環境保全活動や環境教育の推進に取り組みます。	環境保全課	実施	→	→	
			フォーラム開催(毎年)	継続	継続	

◆第2項 環境に優しいエネルギー施策の取組み

①自然エネルギーの調査研究 ②リサイクルエネルギーの活用

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23年度	H24年度	H25年度	
バイオマスタウン構想推進事業	バイオマスタウン構想に基づき、農業集落排水汚泥等を堆肥化するコンポストセンターの取組や実証、さらには廃食用油の再資源化検討など、未利用バイオマスの資源化について検討します。	環境保全課	実施	→	→	2-⑦
			山東地域の農集排水汚泥搬入(H22年度)			
			廃食用油の再資源化に向けた検討	継続	継続	2-⑦

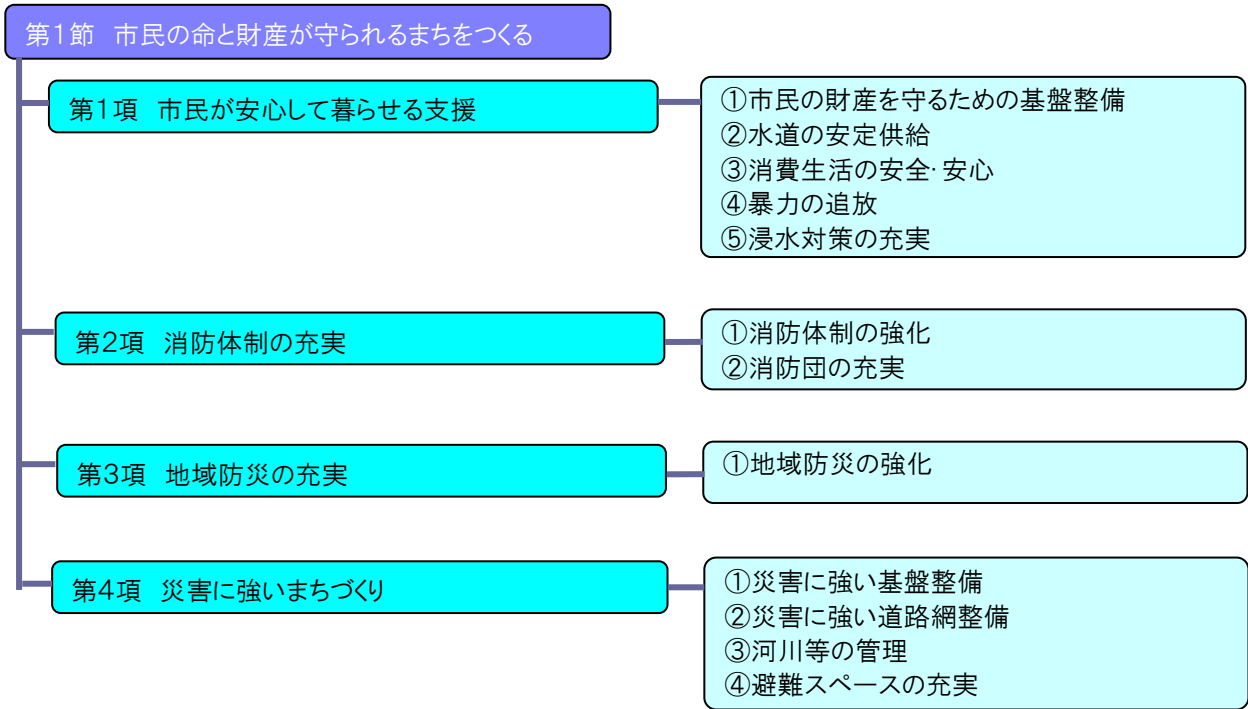


第4章

災害に強く生活が便利なほっとするまち

第1節 市民の命と財産が守られるまちをつくる

《施策体系》



◆第1項 市民が安心して暮らせる支援

- ①市民の財産を守るための基盤整備 ②水道の安定供給 ③消費生活の安全・安心 ④暴力の追放
⑤浸水対策の充実

数値目標 ―現状値と平成 25 年度末の目標値―	<H20 年度値>	<現状値>	<目標値>
耐震診断派遣実施戸数(累計)	453 戸	478 戸	600 戸

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
地籍調査事業	筆ごとの土地について、所有者・地番・地目の調査ならびに境界・地籍に関する測量を行い、登記することにより、土地所有に関する権利保全・明確化を行います。	建設課	実施	→	→	
			世継・入江干拓地区調査取組・完了(H22 年度)			
			西山地区調査取組	継続	継続・完了	
水道ビジョン(水道事業基本計画)策定推進事業	安全で清浄な水の安定供給に取り組むための「水道ビジョン」や「水道事業基本計画」を策定し、これに基づく健全で計画的な水道事業に取り組みます。	上下水道課		新規地区調査取組	継続	
			実施	→	→	
			計画見直し・策定・完了(H21 年度)			
			進ちよく管理	継続	継続	

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
水道の安定供給のための上水道整備事業	安定した水道水の供給を行うため、「水道ビジョン」や「水道事業基本計画」に基づき老朽化した浄水場や配水池などの整備を行います。(～H29)	上下水道課	実施	→	→	
			米原配水池および送配水管整備	継続	継続	
			礫送水ポンプ所改修	継続	継続	
			枝折加圧設備工事・完了			
			遠方監視システム統合整備	継続	継続	
水道の安定供給のための簡易水道整備事業	山東・伊吹地域の効率的な安定した給水確保のため、簡易水道の連絡管布設や簡易水道事業統合に向けた整備を行います。	上下水道課	実施	→	→	
			伊吹・山東配水管整備・完了(H21 年度) 柏原簡水河内浄水場改修・完了			
耐震化促進事業	昭和 56 年の建築基準法改正(新耐震)に基づき、改正以前に建築された木造住宅に居住している市民の生命・財産を守るため、住宅家屋の耐震診断などを行います。	住宅対策室 市民自治センター (自治振興課)	実施	→	→	
			耐震診断派遣事業(30 件) 耐震・バリアフリー改修事業(1件)	耐震診断派遣事業(30 件) 耐震・バリアフリー改修事業(1件)	耐震診断派遣事業(30 件) 耐震・バリアフリー改修事業(1件)	5-① 5-①
浸水対策事業	集中豪雨時に冠水するおそれがある米原駅周辺地域において、雨水・排水対策を行います。	建設課	実施完了 (H22 年度) 雨水調整池設置工事 入江梅ヶ原線排水ポンプ改修			

◆第2項 消防体制の充実

①消防体制の強化 ②消防団の充実

数値目標 —現状値と平成 25 年度末の目標値—	<H20 年度値>	<現状値>	<目標値>
消防団員数	855 人	852 人	858 人

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
消防力基盤整備事業	消防団の強化と円滑な出動体制維持のため、消防車両や消防ポンプなどの計画的な更新整備を行います。	市民安全課	実施	→	→	
			小型ポンプ 14 台更新	ポンプ車2台、小型ポンプ6台、積載車3台更新	小型ポンプ5台、積載車4台更新	5-①
消防施設整備事業	災害時の消防水利として、防火水槽や消火栓を計画的に設置し、災害に強いインフラ整備を行います。	市民安全課	実施	→	→	
			消火栓新設・改良(随時)	継続	継続	5-①
消防団員活動事業	非常備消防組織である消防団の定数 862 人を、常時確保できるように努力します。	市民安全課	実施	→	→	5-①

第4章

災害に強く生活が便利なほっとするまち

第1節 市民の命と財産が守られるまちをつくる

◆第3項 地域防災の充実

①地域防災の強化

数値目標 —現状値と平成 25 年度末の目標値—	<H20 年度値>	<現状値>	<目標値>
自主防災組織の組織化自治会数	79 自治会	95 自治会	105 自治会

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
地域防災力向上事業	自主防災組織の組織化と組織運営、自主防災計画作成などの指導、助言を行うとともに、防災資器材等整備助成を行います。また、地域における危険な場所などを住民自らが話し合い取りまとめることにより、地域の絆が再確認できる「絆マップ」の作成を全自治会に推進します。	市民安全課	実施	→	→	5-①
			絆マップ作成補助・完了			
防災意識啓発事業	出前講座の実施や防災訓練、安心・安全メール配信サービスの活用などにより、市民の防災意識の啓発を行います。	市民安全課	実施	→	→	5-①
			防災講演会実施	継続	継続	
防災訓練実施事業	大規模災害を想定した防災訓練等を実施し、万一の災害に備えます。	市民安全課	実施	→	→	5-①

◆第4項 災害に強いまちづくり

①災害に強い基盤整備 ②災害に強い道路網整備 ③河川等の管理 ④避難スペースの充実

数値目標 —現状値と平成 25 年度末の目標値—	<H20 年度値>	<現状値>	<目標値>
災害時応援協定の締結数	10 協定	12 協定	16 協定

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
災害基盤強化事業	防災無線を通じて緊急地震速報などを市民に瞬時に伝達できる体制の整備や災害時に援護が必要となる方の名簿を作成します。また、災害に備えた道路確保や河川の適正な管理を行うため、地元や関係機関とともに取組を進めます。	市民安全課 建設課 高齢福祉課 市民自治センター (自治振興課)	実施	→	→	5-①
			屋外拡声器追加設置(4自治会)・完了(H22 年度)			
			伊吹北部緊急道路確保事業調査検討	継続	継続	5-②
			天野川浚渫促進	継続	継続	
			災害時要援護者名簿更新	継続	継続	5-①

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23年度	H24年度	H25年度	
急傾斜地崩壊防止対策事業	市民の生命・財産を守るため、急傾斜地の崩壊防止対策工事を順次行います。	建設課	実施	→	→	
			下丹生地区対策工事・完了(H22年度)			5-①
			伊吹地区対策工事・完了			5-①
			堂谷地区測量設計	堂谷地区対策工事・完了		5-①
				志賀谷地区測量設計	志賀谷地区対策工事・完了	5-①
災害時応援協定締結の推進	災害時に資機材や復旧要員などの応援が得られるよう、関係事業者等と協定締結に努めます。	市民安全課	実施	→	→	
避難施設耐震対策事業	災害時における避難スペース確保のため、避難所として指定されている集会施設の耐震化工事を支援します。	住宅対策室	実施	→	→	
			耐震工事補助(1施設)	継続	継続	5-①

《施策体系》

第2節 子どもがみちくさできるまちをつくる

第1項 安全な道づくり

- ①交通安全施策の充実
- ②道路の安全の確保

第2項 市民生活を守る

- ①防犯体制の充実

◆第1項 安全な道づくり

- ①交通安全施策の充実
- ②道路の安全の確保

数値目標 —現状値と平成 25 年度末の目標値—	<H20 年度値>	<現状値>	<目標値>
市内の年間交通死亡事故件数	3 件	4 件	0 件

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
交通安全施設等整備事業	カープミラーやガードレールなど交通安全施設の整備に取り組みます。	建設課	実施	→	→	
市民とともに築く安全な道路環境推進事業	交通指導員や地域推進員、スクールガードなど市民とともに安全な道路環境づくりに取り組みます。	市民安全課 学校教育課	実施	→	→	
バリアフリー市道整備事業	高齢者や障がいのある人を含め、すべての人が円滑に移動できるよう、米原駅周辺の市道のバリアフリー化に取り組みます。	建設課	実施完了 (H21 年度) 下多良梅ヶ原線ほか			

◆第2項 市民生活を守る

- ①防犯体制の充実

数値目標 —現状値と平成 25 年度末の目標値—	<H20 年度値>	<現状値>	<目標値>
メール配信サービス(不審者情報)の登録件数(累計)	858 件	987 件	1,200 件

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
防犯対策事業	メール配信などによる防犯情報の提供や防犯灯の設置など、犯罪のないまちづくりを目指します。	市民安全課	実施	→	→	

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェ スト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
地域防犯対策支援事業	防犯灯の設置などの自治会支援や防犯パトロール隊への活動支援を行い、犯罪のない安全・安心なまちづくりを目指します。	市民安全課	実施	→	→	
			防犯灯 設置補助	継続	継続	

《施策体系》

第3節 交通体系の整備により一体的なまちをつくる

第1項 公共交通の充実

- ①鉄道利用の促進
- ②公共交通網の確立

第2項 道路網の充実

- ①広域幹線道路の整備促進
- ②市道整備の推進

◆第1項 公共交通の充実

①道利用の促進 ②公共交通網の確立

数値目標 —現状値と平成 25 年度末の目標値—	<H20 年度値>	<現状値>	<目標値>
公共交通(バス・タクシー)一人 1 乗車当たりの運行赤字額	630 円	579 円	550 円

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
鉄道利用促進事業	坂田駅や近江長岡駅、醒ヶ井駅などにおける乗車券類発売や、琵琶湖環状線や近江鉄道の利用促進のための取組を行います。	市民安全課	実施	→	→	
公共交通対策事業(バス・タクシー)	最適な市内の交通体系を目指し、路線バスや乗合タクシーなどによる移動手段の確保に取り組めます。	市民安全課	実施 バス車両更新・ダイヤ調整等	→ 継続	→ 継続	3-⑨
環境にこだわる公共交通 【再掲】	ノーマイカーの推進やワンコインエコパスの利用、観光イベントでのエコ交通の推進など車社会を見直し、環境にやさしい公共交通への転換を促進します。	環境保全課 市民安全課 商工観光課	実施	→	→	

◆第2項 道路網の充実

①広域幹線道路の整備促進 ②市道整備の推進

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
広域幹線道路整備促進事業	交通の要衝にふさわしい広域幹線道路の整備を目指し、要望活動や関係機関との協議に取り組めます。国道 21 号バイパスについては、要望活動を推進します。国道 8 号米原バイパスについては、平成 24 年度開通に向けて事業促進します。	建設課	実施	→	→	2-④
			協議・調整	継続	継続	

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェ スト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
市道整備促進事業	平成 19 年度に策定した道路網整備計画に基づき、継続性・緊急性・重要性の高い道路事業から重点的・計画的に整備に取り組めます。	建設課	実施	→	→	
			計画策定 (H19 年度)	計画見直し		
			藤川相撲庭線 修繕工事・一 部完了 (H22 年度)			
			入江磯梅ヶ原 線新設工事	継続	継続	2-①
			板戸市場線 (1期工事)改 良工事	継続	継続・完了	2-③
			入江梅ヶ原線 改良工事	継続・完了		2-①
			小田間田線 (1期工区)改 良工事	継続・完了		
			山室外周線改 良工事	継続・完了		
				上平寺5号線 改良工事・ 完了		
				藤川2号線改 良工事・完了		
				堂の前線測量 設計・用地買 収等	堂の前線改良 工事・完了	
			春照7号線改 良工事・完了			
			最終処分場関 連アクセス道 路設計・改良 工事	最終処分場関 連アクセス道 路改良工事		

第4章

災害に強く生活が便利なほっとするまち

第4節 市民をつなぐ情報が交流するまちをつくる

《施策体系》

第4節 市民をつなぐ情報が交流するまちをつくる

第1項 もしものための情報共有制度の確立

- ①緊急情報の共有
- ②緊急時の情報発信

◆第1項 もしものための情報共有制度の確立

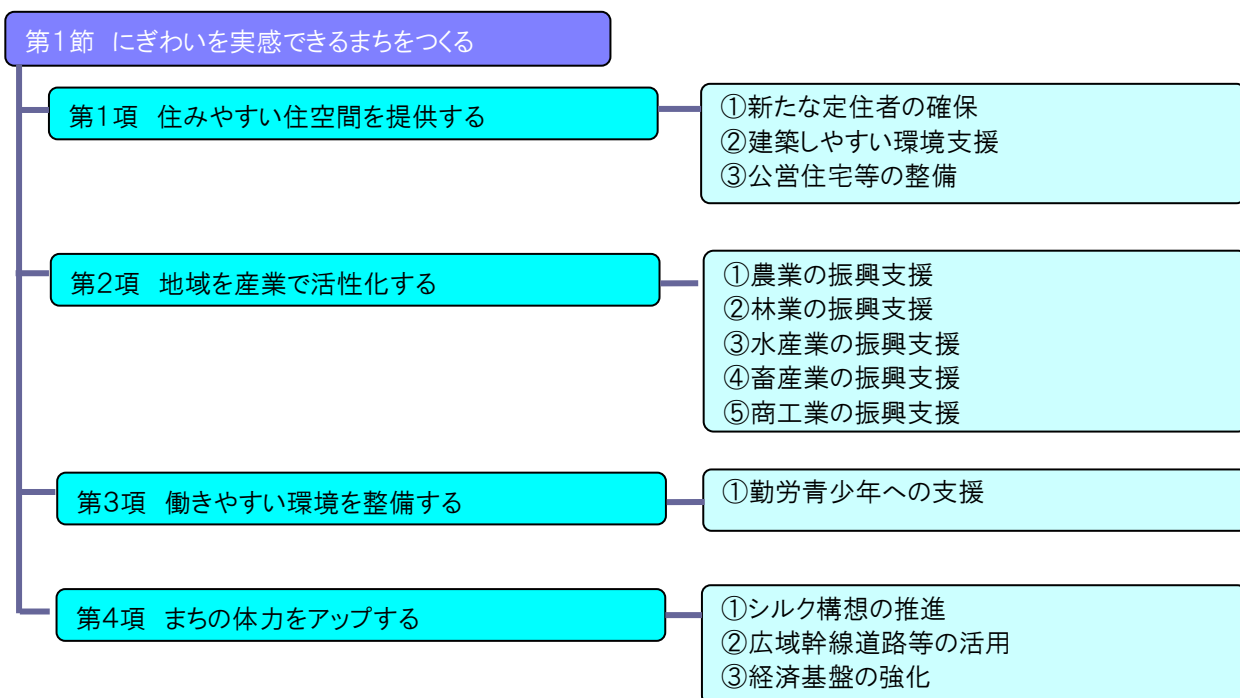
①緊急情報の共有 ②緊急時の情報発信

数値目標 —現状値と平成 25 年度末の目標値—	<H20 年度値>	<現状値>	<目標値>
メール配信サービス(災害情報)の登録件数(累計)	857 件	985 件	1,200 件

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
災害基盤強化事業(全国瞬時警報システム設置) 【再掲】	防災無線を通じて、緊急地震速報など市民に瞬時に伝達できるように全国瞬時警報システムなどを導入し、活用します。	市民安全課	実施	→	→	5—①
			屋外拡声器追加設置(4自治会)・完了(H22 年度)			
地域防災情報発信事業	地域の危険箇所や避難場所などの情報を市民と共有し、市民の安全を確保するための総合防災マップや洪水ハザードマップなどを作成・配布します。	市民安全課 政策秘書課	実施	→	→	
			地域防災計画見直し(随時)	継続	継続	5—①
			安心・安全メール配信サービス	継続	継続	5—①



《施策体系》



◆第1項 住みやすい住空間を提供する

①新たな定住者の確保 ②建築しやすい環境支援 ③公営住宅等の整備

数値目標 —現状値と平成25年度末の目標値—	<H20年度値>	<現状値>	<目標値>
移住促進による空家の活用軒数	1 軒	2 軒	15 軒
上記以外の空家の活用軒数	1 軒	2 軒	11 軒

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23年度	H24年度	H25年度	
水源の里振興事業	「水源の里まいばら元気みらい条例」の基本理念に基づき、農山村地域の価値に再び光を当てるため、各種振興施策に取り組めます。特に指定地域への移住者、滞在者の増加を目指し、空家活用の事業展開、移住者発掘のための情報発信事業に取り組めます。	水源の里振興室 政策秘書課 商工観光課 農林振興課 伊吹市民自治センター (自治振興課)	実施	→	→	
			プロモーション媒体制作・情報発信	継続	継続	2-⑨
			集落点検調査・検証	継続	継続	2-⑨
			みらい・つくり隊	継続	継続・完了	2-⑨
			3世代同居への支援検討	3世代同居への支援実施	継続	2-⑨ 5-④
公営住宅等管理事業	公営・改良住宅の適正な維持管理を行います。また、小集落改良住宅譲渡に関する基本方針を協議・策定し、改良住宅譲渡に向けた取組を行います。	住宅対策室	実施	→	→	
			公営・改良住宅維持管理	継続	継続	
			基本方針等に基づき改良住宅改修・譲渡	継続	継続	

◆第2項 地域を産業で活性化する

①農業の振興支援 ②林業の振興支援 ③水産業の振興支援 ④畜産業の振興支援 ⑤商工業の振興支援

数値目標 —現状値と平成 25 年度末の目標値—	<H20 年度値>	<現状値>	<目標値>
担い手による農地経営面積比率	54.50 %	55.70 %	62.50 %
間伐施業面積	52 ha	200 ha	300 ha
企業活動に関する相談件数	15 件	10 件	20 件

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
農業活性化対策事業	水田農業ビジョンに基づき、担い手の確保・育成や国・県の施策と連動する農地利用集積の推進に取り組みます。特に若い新規就農者への支援制度を創設し、後継者育成に努めます。	農林振興課	実施	→	→	
			担い手利用集積緊急対策	継続	継続	
			就農者支援	継続	継続	4ー①
安全・安心の地産地消促進事業	安全・安心の地産地消戦略として、直売所やイベントなどによる販路拡大や学校給食の材料使用に取り組みます。	農林振興課	実施	→	→	
			農林水産まつり開催	継続	継続	4ー②
農林水産体験実践事業 【再掲】	民家ステイ体験やグリーンツーリズムなどの農林水産業体験を実施し、市内外の交流による地域活性化に取り組みます。	商工観光課 農林振興課 水源の里振興室	実施	→	→	
			民家ステイ体験の体制整備・受入れ	継続	継続	2ー⑨
農作物獣害対策事業	イノシシ、ニホンザル、ニホンジカ、カラス、ハクビシンなどによる農作物への被害を防ぐため、銃器駆除や電気柵設置助成などの被害対策に取り組みます。	農林振興課	実施	→	→	4ー④
林業振興支援事業	森林の形態にあった保安林指定や林道整備・維持管理を行い、間伐施業や間伐材利用の促進を図り、森林の持つ多面的機能を保持しながら、良質材の生産ができる環境づくりに取り組みます。	農林振興課	実施	→	→	
			上丹生柏原線舗装・完了(H22 年度)			2ー⑨
			上丹生柏原線開設・一部完了(H22 年度)			2ー⑨
商工業振興支援事業	小規模企業者への融資や経済振興のパートナーである商工会への経営基盤強化のための支援を行い、商工業の振興に取り組みます。	商工観光課	実施	→	→	
			信用保証料補助・完了			4ー⑦
			農商工連携支援	継続	継続	4ー⑦
工業振興支援事業	市内における企業活動を総合的に支援するため、的確な情報提供や迅速できめ細やかな対応を行うワンストップ窓口として、企業からの相談に応じます。	都市振興局	実施	→	→	

第5章

地の利を活かしたにぎわいのまち

第1節 にぎわいを実感できるまちをつくる

◆第3項 働きやすい環境を整備する

①勤労青少年への支援

数値目標 —現状値と平成 25 年度末の目標値—	<H20 年度値>	<現状値>	<目標値>
「あおぞら」での相談のうち就労につながった件数	4 件	4 件	5 件

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
若者自立支援(若者自立ルーム「あおぞら」)事業	若者自立ルーム「あおぞら」を設置し、引きこもりやニートの状態にある若者やその家族への継続的な相談ならびに支援を行い、若者の就労と生活自立を図ります。	子ども家庭サポートセンター 商工観光課	実施	→	→	

◆第4項 まちの体力をアップする

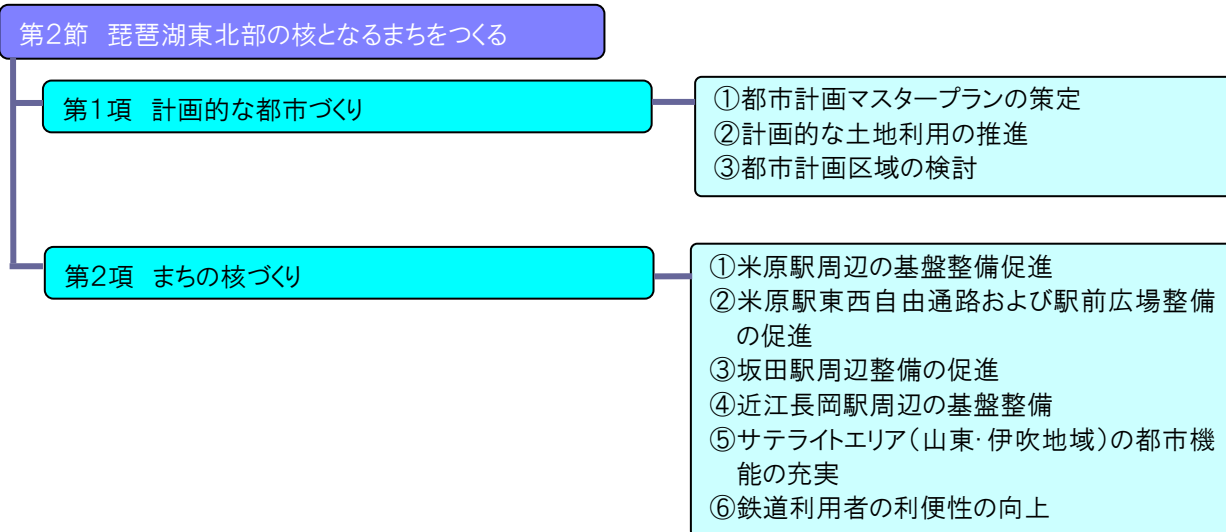
①シルク構想の推進 ②広域幹線道路等の活用 ③経済基盤の強化

数値目標 —現状値と平成 25 年度末の目標値—	<H20 年度値>	<現状値>	<目標値>
新規企業の立地件数(工場等誘致条例該当企業)	0 社	0 社	1 社
既存企業の事業拡大件数(同上)	0 社	0 社	1 社
新規企業立地、既存企業事業拡大に伴う市民の就職者数(同上)	0 人	0 人	10 人

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
米原南工業団地造成(滋賀統合物流センター)事業	米原南工業団地の立地企業に対し、円滑な稼働に向けた支援を行います。併せて貨物ターミナルやアクセス道路など関連基盤が早期に整備されるよう促進します。	都市振興局建設課	実施	→	→	
			企業の立地支援	継続	継続	4ー⑤
企業誘致戦略事業	企業の事業拡大や新規立地を促進するための奨励制度などを活用し、企業誘致の戦略的な方針などを定めた計画の推進に取り組みます。	都市振興局商工観光課	実施	→	→	
			該当企業への奨励金交付等	継続	継続	
新産業用地創出事業	更なる企業誘致を可能とするため、既存産業用地の拡張や新たな産業用地の創出に取り組みます。	都市振興局	必要に応じて実施	継続	継続	



《施策体系》



◆第1項 計画的な都市づくり

①都市計画マスタープランの策定 ②計画的な土地利用の推進 ③都市計画区域の検討

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
都市計画マスタープラン策定推進事業	豊かな自然と交通の便利さを活かし、市民の意向を反映した都市づくりの方針となる都市計画マスタープランを策定し、計画的な整備に取り組みます。	都市計画課	実施 計画策定・完了(H19年度) 進ちよく管理	→ 継続	→ 継続	
市街化調整区域内地区計画運用基準策定	市街化調整区域における地区計画制度の円滑な運用を図るための基準を策定します。	都市計画課	実施完了 (H20年度)			
農業振興地域整備計画策定推進事業	計画的な土地利用と農村の整備を図り、優良農地の確保と農業振興を行うため、計画を策定し、適正な運用を図ります。	農林振興課	実施	→ 計画改定に伴う基礎調査	→ 計画改定	
都市計画区域の検討	合併に伴い、都市計画区域の枠組みと行政の枠組みに不整合が生じていることから、新たな用途区分や都市計画区域の見直しに向けて協議を行います。	都市計画課	実施 区域再編協議	→ 継続	→ 継続	

◆第2項 まちの核づくり

①米原駅周辺の基盤整備促進 ②米原駅東西自由通路および駅前広場整備の促進 ③坂田駅周辺整備の促進
④近江長岡駅周辺の基盤整備 ⑤サテライトエリア(山東・伊吹地域)の都市機能の充実
⑥鉄道利用者の利便性の向上

数値目標 ―現状値と平成 25 年度末の目標値―	<H20 年度値>	<現状値>	<目標値>
米原駅1日当たりの乗降客数	10,585 人	9,971 人	11,000 人

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
米原駅周辺基盤整備事業	◇米原駅東部土地区画整理事業 琵琶湖東北部拠点都市の鉄道玄関口にふさわしい基盤整備とまちの活性化を図るため、米原駅東部土地区画整理事業に取り組みます。	米原駅周辺整備課	実施 区画整理 工事・完了 確定測量等	完了 換地処分		2－① 2－② 2－① 2－②
	◇区画整理関連事業 区画整理事業に関連する市道や公園整備などに取り組みます。	米原駅周辺整備課	実施 完了 (H21 年度) 急傾斜地 対策、市道 整備、街区 公園整備ほか			2－① 2－② 5－①
	◇米原駅東口周辺まちづくり事業 米原駅を中心とする都市核の形成を図り、将来の人口維持や企業進出を誘導するため、「米原駅東口周辺まちづくりビジョン」に基づき、官民協働によるまちづくりを目指します。	都市振興局	実施 プロポーザル (企画提案) 実施	→ プロポーザル 優先事業者との調整・協議 ほか	→ 継続	2－① 2－②
米原駅整備事業 (自由通路整備事業・駅橋上化整備事業)	地域住民・駅利用者の利便性を高めるために、米原駅東西自由通路および橋上駅舎整備を実施します。〔平成 21 年春利用開始〕	米原駅周辺整備課	実施 完了 (H22 年度) 通路施設耐震 補強工事等			2－①
坂田駅周辺整備事業	坂田駅周辺の土地利用の高度化を図るための検討を進め、具現化に向けた取組を進めています。	近江市民自治センター (自治振興課) 都市計画課	実施 開発協議	→ 継続	→ 継続	
近江長岡駅周辺整備事業	近江長岡駅や駅周辺の活性化を図るため、基礎データの収集とまちづくりの方向性を継続して検討します。	山東市民自治センター (自治振興課) 都市計画課	実施 基礎調査等、 駅周辺活性化 構想策定	→ 継続	→ 継続	
春照地区まちづくり事業	都市計画マスタープランに基づき、都市核としての基盤整備を図ります。	都市計画課 建設課 歴史・文化 財保護室	実施 消雪施設整備 工事	完了 継続		
			春照7号線改良工事・完了 【再掲】 公園(東屋)整備・完了 (H22 年度)			
			歴史講座 開催	継続		2－⑥

《施策体系》

第3節 訪れる人に感動を与えるまちをつくる

第1項 にぎわいで潤うまち

- ①地域資源を活かした観光戦略
- ②広域観光施策の充実
- ③観光拠点づくりとネットワークの構築

◆第1項 にぎわいで潤うまち

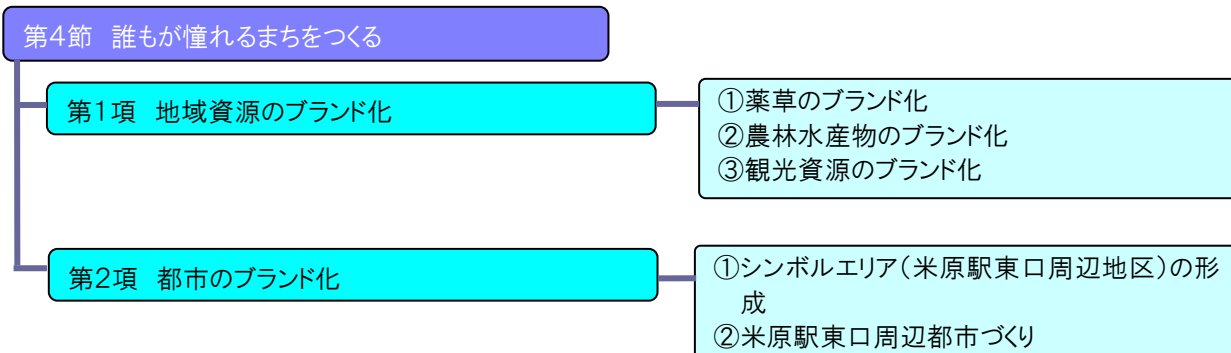
①地域資源を活かした観光戦略 ②広域観光施策の充実 ③観光拠点づくりとネットワークの構築

数値目標 —現状値と平成 25 年度末の目標値—	<H20 年度値>	<現状値>	<目標値>
年間の観光入込客数	207 万人	205 万人	210 万人

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
観光情報発信事業	メール配信や電光掲示板、観光マップなど、多様な媒体を活用し、米原市の観光資源の魅力を最大限に全国へ情報発信します。	商工観光課	実施	→	→	
			まいばら本物発信・完了 (H21 年度)			4-⑥
			観光アドバイザー雇用(2名)・完了			4-⑨
市民協働観光ガイド戦略	観光地の地元市民や事業者との協力・連携を図りながら、市民や団体による観光案内ガイドの育成と活動支援を行い、観光客受入体制を構築します。また、2011 年の大河ドラマ「江」にあやかり、湖北地域への誘客に取り組めます。	商工観光課	実施	→	→	
			体験型観光パンフレット作成・完了 (H22 年度)			
			大河ドラマ関連団体加盟による情報発信・完了			
			民家ステイ体験の体制整備・受入れ	継続	継続	
観光資源活用イベント支援事業	雪合戦奥伊吹バトル、天の川ほたるまつり、中山道柏原宿やいと祭、磯武者行列祭など、米原市の魅力ある観光資源を活用したイベントを支援します。	商工観光課	実施	→	→	
観光振興計画策定推進事業	米原市の観光ビジョンを明確化させるため観光振興計画を策定し、計画的な体制整備に取り組めます。	商工観光課	実施	→	→	
			計画策定・完了 (H22 年度)			4-⑨
			進捗管理	継続	継続	4-⑨



《施策体系》



◆第1項 地域資源のブランド化

①薬草のブランド化 ②農林水産物のブランド化 ③観光資源のブランド化

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23年度	H24年度	H25年度	
まいばら特産品販売・観光情報発信拠点とネットワークづくり事業	米原市(琵琶湖東北部)の玄関口である米原駅整備に併せて、東口コミュニティホールを整備し、米原の観光物産や観光情報などの発信を行う拠点として、市内外への多様なネットワークづくりに取り組みます。	農林振興課	実施 調査・検討	→ 未定	→ 未定	4-②
		商工観光課	実施 情報発信	→ 継続	→ 継続	4-⑥
		米原駅周辺整備課	実施完了 (H22年度) 東口コミュニティホール整備・完了			2-②
地域のブランド戦略	水源の里まいばらの地域ブランドづくりと宣伝の在り方について、有識者会議を設置し協議を行います。	水源の里振興室 政策秘書課	実施完了 プロモーション戦略会議開催			4-⑥
まいばらファン倶楽部事業	一人でも多くの米原ファンを増やすため、米原ファン倶楽部を創設し会員募集を行います。	水源の里振興室 政策秘書課	実施 会員募集	→ ファン倶楽部設立	→ 情報発信	2-⑨
農林水産物のブランド化事業	赤かぶ、伊吹大根といった地域素材を活かし、特産品加工制度の構築や水稻以外の作物の振興を図ることにより、地域ブランドづくりを推進します。	商工観光課 農林振興課	実施 園芸作物振興事業・完了 (H21年度) ごっつお作り事業・完了	→	→	4-③
						4-⑥
市勢要覧発行事業	米原市の新たな魅力(自然や歴史・産業など)を市外へ伝えるため、市勢要覧の刷新に取り組みます。	政策秘書課	実施 簡易版作成・完了 (H22年度)	→	→	4-⑥
					本編・資料編刷新	4-⑥

◆第2項 都市のブランド化

①シンボルエリア(米原駅東口周辺地区)の形成 ②米原駅東口周辺都市づくり

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23年度	H24年度	H25年度	
米原駅東口周辺まちづくり事業 【再掲】	米原駅を中心とする都市核の形成を図り、将来の人口維持や企業進出を誘導するため、「米原駅東口周辺まちづくりビジョン」に基づき、官民協働によるまちづくりを目指します。	都市振興局	実施	→	→	
			プロポーザル(企画提案)実施	プロポーザル優先事業者との調整・協議ほか	継続	2-① 2-②
米原駅東部土地区画整理事業 【再掲】	◇米原駅東部土地区画整理事業琵琶湖東北部拠点都市の鉄道玄関口にふさわしい基盤整備とまちの活性化を図るため、米原駅東部土地区画整理事業に取り組めます。	米原駅周辺整備課	実施	完了		
			区画整理工事・完了			2-①
			確定測量等	換地処分		2-②

政策実現のための都市経営

その 1 市民主権による都市経営(協働のまちづくり推進)

《施策体系》

(1) 参加と協働がしやすい仕組みをつくります

- 役割分担と協働の具現化
- 市政への市民参加

(2) 強い地域コミュニティを醸成します

- 新たな自治の検討
- 市民自治の底力をアップする

(3) 多様な主体とともにまちをつくります

- 市民参加の促進
- 事業者等の参加、参画
- 団体等の参加、参画

(1) 参加と協働がしやすい仕組みをつくります

■ 役割分担と協働の具現化 ■ 市政への市民参加

数値目標 — 現状値と平成 25 年度末の目標値 —	<H20 年度値>	<現状値>	<目標値>
市が設置する審議会等のうち公募委員枠を設けている審議会等の比率	44.30 %	41.10 %	50.00 %

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
自治基本条例推進事業	自治基本条例の理念に基づく、協働のまちづくり戦略としての市民啓発、事業化を図りながら、協働の仕組みづくりに取り組みます。	政策秘書課	実施 条例記念日・市政功労者表彰制度見直し・完了(H22 年度)	→	→	3-⑥
	◇条例のアピール戦略 出前講座メニューの充実や広報まいばらなどを通じて、市民による自治基本条例の理解を高めていきます。	政策秘書課	実施 地域協働型研修実施 フォーラム開催	→ 継続	→ 継続	
	◇自治基本条例推進委員会 自治基本条例推進委員会から受けた提言の具現化に向けて、進行管理と庁内組織による横断的な推進に取り組みます。	政策秘書課	実施 推進検討チームによる検討	→ 継続	→ 継続	

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
市政への市民参加の仕組みづくり事業	◇パブリックコメント制度 市の政策などの意思決定過程において、市民意見を反映させるための意見提出手続制度の仕組みをつくり、活用していきます。	政策秘書課	実施 制度創設・完了 (H17 年度)	→	→	
			制度活用	継続	継続	
	◇市民参加型公募債 市民の資金をお借りし、将来のまいばらのために活用する市民参加型公募債の仕組みづくりを行い、必要に応じて制度活用を図ります。	財政課	実施 公募債制度創設・完了 (H18 年度)	→	→	
			制度活用・未定	継続	継続	
	◇市民公募委員 審議会等の委員構成において、市民公募枠を設け、市民の市政参画を推進します。	総務課	実施	→	→	
	◇市民の声システム 日々の業務において市民から寄せられる意見などをデータとして蓄積し、市役所内部で情報共有を図り、ニーズ把握に努めることにより、質の高い行政サービスの提供や施策立案のツールとして活用します。	市民自治センター (自治振興課)	実施	→	→	
	◇市民意識調査 行政の提供するサービスが市民に与える影響や効果などを統計的に把握するため、市民意識調査を実施します。	政策秘書課	実施 制度見直し	→	→	
	◇市長への手紙 市民の生の声を直接伺うシステムとして、市長への手紙を導入することにより、広聴制度の更なる充実を図ります。	政策秘書課	実施	→	→	6-④
	◇事業仕分け 事業の妥当性、有効性、効率性などを判断し、既存事業を再検証するため、事業仕分けに取り組みます。	政策秘書課	実施完了			6-②

(2) 強い地域コミュニティを醸成します

■新たな自治の検討 ■市民自治の底力をアップする

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
地域の絆でまちづくり事業	個性ある地域の創造と、地域の課題解決を図るための仕組みとなる「地域創造会議」を地域ごとに構築・運用し、持続可能な地域自治を推進します。	市民自治センター (自治振興課) 政策秘書課 財政課	実施	→	→	
			運用開始	継続	継続	3-⑦
			基金創設・完了 (H21 年度)			

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
協働型地域振興サポート事業	住友大阪セメント工場跡地で計画されている産廃処理施設建設計画について、産業廃棄物持込反対運動同盟会と連携し、地域の望ましい跡地利用が進められるよう活動をサポートしていきます。	伊吹市民自治センター（自治振興課） 政策秘書課 環境保全課	実施	→	→	4－⑧
	長岡駅周辺のまちづくり推進のため、近江長岡駅周辺地域活性化懇話会と連携し、周辺地域の活性化に向けた活動をサポートしていきます。	山東市民自治センター（自治振興課） 政策秘書課 都市計画課	実施	→	→	
	坂田駅周辺のまちづくりの推進ため、坂田駅周辺まちづくり委員会と連携し、各種まちづくり活動をサポートしていきます。	近江市民自治センター（自治振興課） 政策秘書課 都市計画課	実施	→	→	
	入江干拓承水溝の水質改善と利活用のため、入江干拓承水溝関係機関連絡会と地域住民の連携により、住みよい環境づくり活動をサポートしていきます。	米原市民自治センター（自治振興課） 政策秘書課 農林振興課	実施	→	→	
地域コミュニティ活動支援事業	集会所および広場などのコミュニティ施設の整備や地域の活性化、地域課題解決に向けた活動事業に対して助成を行います。	市民自治センター（自治振興課）	実施	→	→	3－⑦

（3）多様な主体とともにまちをつくります

■市民参加の促進 ■事業者等の参加、参画 ■団体等の参加、参画

数値目標 ―現状値と平成 25 年度末の目標値―	<H20 年度値>	<現状値>	<目標値>
みんなが主役のまちづくりフォーラム参加者数 （H21 年度末で廃止しスキルアップ講座へ移行）	100 人	150 人	200 人（H21 終了）
スキルアップ講座受講者数（H22 年度から）	— 人	— 人	30 人

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
新たな公共の担い手育成事業	◇公共担い手育成 公共の在り方、役割分担の検証に努め、公共を支え合うパートナー育成のための NPO 育成スキルアップ講座などに取り組みます。	政策秘書課	実施	→	→	5－③
			座談会 開催等	継続	継続	

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
ふるさと寄付金制度活用事業	◇寄付金条例の制定等 米原の魅力を最大限活かしたまちづくりを進めるため、市内外の人々から寄付という形で賛同を得られるよう制度化し、積極的な活用を図ります。	政策秘書課 管財課 税務課	実施	→	→	
			制度創設・完了 (H20 年度)			
			寄付金募集・活用	継続	継続	
団塊世代への支援事業	団塊世代など退職世代を対象に生活や地域活動に関する情報提供、悩み相談、仲間づくりを目的とした「たまり場」を設置し、積極的な地域活動への参加を促します。	政策秘書課	実施	→	→	
			たまり場設置 (2か所)	継続	継続	3ー⑤
			e-ガイドブックの更新(随時)	継続	継続	

政策実現のための都市経営

その2 顔の見える都市経営(情報の共有)

《施策体系》

(1) 情報を共有する仕組みづくりと実践を行います

- CATV(行政放送)の活用
- わかりやすい広報づくり
- 地域情報化計画の策定

(2) 情報交流を進めます

- CATV 網(情報通信網)を活用した情報基盤の整備
- 市民と市民をつなぐ情報交流

(3) 個人情報を保護します

- 個人情報保護
- セキュリティポリシー

(1) 情報を共有する仕組みづくりと実践を行います

■CATV(行政放送)の活用 ■わかりやすい広報づくり ■地域情報化計画の策定

数値目標 —現状値と平成 25 年度末の目標値—	<H20 年度値>	<現状値>	<目標値>
ケーブルテレビ加入件数	10,412 件	10,484 件	11,000 件
メール配信サービスの延べ登録件数(累計)	1,188 件	3,024 件	3,300 件

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
市民との情報共有 戦略実践事業	◇伊吹山テレビ放送 ケーブルテレビの普及啓発に努め、市民に親しまれ、臨場感あふれる映像を用いた情報をお茶の間までお届けします。	政策秘書課	実施	→	→	
	◇広報等発行 「広報まいばら」の月 2 回発行や税等の使い道を分かりやすくお伝えする「みんなにわかるみんなのまいばら予算」を年 1 回発行します。	政策秘書課 財政課	実施	→	→	
	◇公式ウェブサイト 市政情報ははじめ、市民の暮らしやイベント、観光などの公式ウェブサイトの情報提供の充実に取り組みます。	政策秘書課	実施	→	→	
					CMS リプレース・完了	6ー①

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
地域情報化推進事業	地域全体の ICT 化に向けた計画を策定し、地域情報化を計画的に推進します。	政策秘書課	実施	→	→	
			計画策定・完了(H21 年度) 情報化計画進ちょく管理	継続	継続	

(2) 情報交流を進めます

■CATV 網(情報通信網)を活用した情報基盤の整備

■市民と市民をつなぐ情報交流

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
情報交換事業	◇安心・安全メール配信サービス 災害や犯罪の情報や市政情報を市民に迅速に伝えるため、メールによる情報発信を行います。	政策秘書課	実施	→	→	5-①
	◇市政情報プラザ 市役所各庁舎や図書館に市政情報プラザ(情報コーナー)を設置し、パブリックコメントなど情報公開を行うことにより、市民がいつでも最新の情報を閲覧できるようにします。	政策秘書課	実施	→	→	
	◇出前トーク市長と語る 市長が自ら地域に出向き、ひざを突き合わせて語り合うことにより、市民等と行政が互いの役割を確認し合うことを目的に、出前トークを開催します。	政策秘書課 市民自治センター (自治振興課)	実施	→	→	6-④

(3) 個人情報情報を保護します

■個人情報保護

■セキュリティポリシー

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
基幹系・情報系システムリプレース事業	高度化するセキュリティ対策に対応するため、基幹系システムなどの更新を行います。	管財課	実施	→	完了	
			基幹系システム導入・移行・完了(H22 年度)			
			財務会計システムリプレース・完了			
				GW システムリプレース・完了	CMS リプレース・完了	

《施策体系》

(1) 行財政改革を着実に進めます

- 成果重視の新しい行政経営
- 部局別マネジメント
- 民間活力の導入
- 信頼される市役所づくり

(2) 適正な人員で効率的な市役所組織をつくります

- 職員研修の強化
- 人事評価システムの導入
- 効率的な市役所組織
- 危機管理体制

(3) 健全な財政運営を行います

- 健全な財政運営の堅持
- 市民にわかりやすい財政状況の公表
（まいばら予算や財政計画の公表）
- 発生主義会計の導入
- 入札制度の透明化
- 市有財産の適正管理
- 納税意識の向上と収納率の向上
- 自主財源の確保
- 人件費の抑制
- 補助金の見直し
- 広域行政の推進

(1) 行財政改革を着実に進めます

■ 成果重視の新しい行政経営 ■ 部局別マネジメント ■ 民間活力の導入 ■ 信頼される市役所づくり

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
行財政改革推進事業	◇行財政改革の推進 行財政改革の方向性や具体的な取組を示す大綱やプランを策定し、計画的な行財政改革に取り組みます。	政策秘書課	実施 第2次大綱策定・完了 (H22 年度) プラン見直し	→ 継続	→ 継続	
	◇事業仕分け【再掲】 事業の妥当性、有効性、効率性などを判断し、既存事業を再検証するため、事業仕分けに取り組みます。	政策秘書課	実施完了			6－②

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
行政評価システム推進事業	効率的・効果的な行政経営、説明責任の徹底、職員の意識改革を図るための行政評価システムを導入します。	政策秘書課	実施 公表・外部評価導入検討	→ 公表・外部評価モデル導入	→ 継続	6ー②
部局別経営マネジメント能力向上の推進	各部局による成果志向、結果志向の行政経営の実現に向け、行政評価の活用を図り、政策形成、人事組織管理、財源配分などの権限移譲を推進します。	政策秘書課 総務課 財政課	実施	→	→	

(2) 適正な人員で効率的な市役所組織をつくります

■職員研修の強化 ■人事評価システムの導入 ■効率的な市役所組織 ■危機管理体制

数値目標 —現状値と平成 25 年度末の目標値—	<H20 年度値>	<現状値>	<目標値>
市役所職員数	433 人	424 人	未定

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
職員人材育成事業	人材育成基本方針に沿った職員研修計画の策定を毎年行い、計画的な研修実施により、職員の資質・能力向上を図ります。	総務課	実施 研修会開催等 人材育成基本方針改定・完了(H21 年度)	→ 継続	→ 継続	
人事評価システムの導入	勤務成績に基づいた能力主義による人事管理と部局内マネジメント能力の向上を目指し、人事評価システムを導入します。	総務課	実施 本運用開始	→ システム見直し(随時)	→ 継続	
計画的な職員数の削減	定員適正化計画に基づく職員数の削減を行い、効率的な市役所組織をつくります。	総務課	実施 第3次計画策定 計画進捗よく管理	→ 継続	→ 継続	

(3) 健全な財政運営を行います

■健全な財政運営の堅持 ■市民にわかりやすい財政状況の公表(まいばら予算や財政計画の公表)
 ■発生主義会計の導入 ■入札制度の透明化 ■市有財産の適正管理 ■納税意識の向上と収納率の向上
 ■自主財源の確保 ■人件費の抑制 ■補助金の見直し ■広域行政の推進

政策実現のための都市経営

その3 次代に引き継ぐための都市経営(行財政改革の推進)

数値目標 —現状値と平成 25 年度末の目標値—	<H20 年度値>	<現状値>	<目標値>
実質公債費比率(普通会計ベース)	15.5 %	14.7 %	18.0 %以下
市税の徴収率	94.90 %	93.90 %	94.80 %
年間の広告収入額	250 万円	224 万円	240 万円

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
計画的な財政運営	市民意識調査でも「健全な財政運営」は、市が取り組むべき項目のトップであることから、中長期の収支見通しや精度の高い財政計画を策定し、健全な財政運営を図ります。	財政課	実施	→	→	
公債費負担の適正化	公的資金の補償金免除繰上償還制度や交付税措置が高い有利な地方債の活用、定期的な繰上償還を実施し、公債費の縮減を図ります。	財政課	実施	→	→	
			繰上償還	継続	継続	
新たな入札制度の確立	入札・契約制度改革に係る実施方針を毎年度定め、より公平、透明で競争性の高い仕組みの確立に取り組めます。	管財課	実施	→	→	
			格付および選定基準見直し	新入札制度導入		
財源の確保	◇広告収入 市の財産などを広告媒体として活用し、広告収入を得ることにより、市の財源の確保に取り組めます。	全課(室)	実施	→	→	
	◇市税等徴収体制強化 滞納整理対策本部の取組の拡充やインターネット公売など、収入の確保に取り組めます。	収納対策課	実施	→	→	
			対面・インターネット公売実施(随時)	継続	継続	
			外国人対象休日納税相談窓口設置	継続	継続	
			公金クレジット収納導入検討	公金クレジット収納システム導入	システム運用開始	
			コンビニ収納システム導入・運用開始・完了			
	◇合併特例債による新たな基金の創設 地域住民の連帯の強化、各区域における地域振興などのために合併特例債を活用した基金を創設します。	財政課	実施	→	→	
			基金創設・完了(H21 年度) 管理・運用	継続	継続	
財政情報の開示	予算編成過程、予算の概要、財政事情、決算など、随時財務情報を公表します。	財政課	実施	→	→	
新公会計制度の導入	発生主義に基づいた資産や負債、正味資産の状態を把握できる財務情報を整備し、公表します。	財政課	実施	→	→	

推進項目	事業概要	所管課	実施スケジュール			マニフェスト区分
			H23 年度	H24 年度	H25 年度	
市有財産の適正管理	市有財産の適正な管理や指定管理者制度の活用により、施設の有効利用を行います。また、2か年において市内すべての公共施設における現状などを調査し、庁舎を含めた公共施設再編計画を策定し、人口規模に見合った施設の維持管理を行います。	公共施設対策室 総務課 政策秘書課	実施	→	→	
			公共施設再編計画策定・完了(H22 年度)			5-⑤ 6-③
			庁舎見直し検討協議	庁舎見直し方針決定		5-⑤
			再編計画に基づく不用財産の処分等	継続	継続	
			名義貸し(自治会所有)財産の整理	継続	継続	

「市長マニフェスト」と本計画との相関関係

=3つの元気(産業・心・体)に事業を選択・集中し、『絆で築く元気な米原市づくり』を推進=

市長マニフェスト				総計実施計画 推 進 項 目	掲 載 ページ
6 つの柱		45 実施項目			
1	教育を重視 子どもたちを すこやかに育 てよう。	①	家庭崩壊のないまちへ。子育て支援は「問題の根源」を学び合うことから始めます。	子ども家庭サポートセンター事業	19
				子ども家庭支援ネットワーク事業 (要保護児童対策地域協議会事業)	19
		②	子どもはまちの宝。地域の声を聴き、幼児教育・保育の充実に努めます。	幼保一元化推進事業	2、18
				放課後安心プラン事業	18
				保育サービス推進事業	18
		③	体験学習、ふるさと教育、心の教育の推進に努めます。	特色ある校園づくり推進事業	2
				すこやか支援事業	3
				職場体験学習事業	3
				子どもの食育体験推進事業	4
				ふるさとの自然から学ぶ学校教育事業	10
		④	米原大好き子を育てるために郷土史教育、自然環境教育を実行します。	特色ある校園づくり推進事業	2
				文化財保護保存活動事業	8
				文化財保護活動支援事業	8
				文化財情報発信事業	8
				ふるさとの自然から学ぶ学校教育事業	10
		⑤	母子家庭・父子家庭の生活の安定を支援、子どもの心の病気の相談体制を整えます。	子どもサポート体制整備事業	3、5
				次世代育成支援対策推進事業	18
				地域で支える子育て支援事業	18
		⑥	小学生から読書の好きな子を育て、「読書のまち」をつくります。	おはなし隊派遣事業	5
				ふるさとの自然から学ぶ学校教育事業	10
		⑦	元気でたくましい子どもを育て、青少年の健全育成に努めます。	子どもの体力アップ推進事業	3
				地域で子どもを支える活動支援事業	5
				競技スポーツチャレンジ支援事業	7
				食育プラン推進事業	13
2	伝統を現代 に生かし、若 さが弾むまち をつくろう。	①	米原駅周辺整備事業については、求められる都市の拠点機能を煮詰め、過大投資を回避します。	市道整備促進事業	44
				米原駅周辺基盤整備事業 (区画整理関連事業・駅東口周辺まちづくり事業含む)	52、56
				米原駅整備事業 (自由通路整備事業・駅橋上化整備事業)	52
		②	広域交通網の結節点にふさわしい県東北部の中心機能を整えます。	米原南工業団地造成(滋賀統合物流センター)事業	49
				まいばら特産品販売・観光情報発信拠点とネットワークづくり事業	55
		③	庁舎間の主要道路網の整備など県道の早期改修を、県に強く働きかけ実現に努めます。	米原駅周辺基盤整備事業 (区画整理関連事業・駅東口周辺まちづくり事業含む)	52、56
				市道整備促進事業	44

市長マニフェスト				総計実施計画 推 進 項 目	掲 載 ページ
6 つの柱		45 実施項目			
(つづき)		④	国道 21 号、国道 8 号バイパスの整備促進にむけて、国・県に強く働きかけ実現に努めます。	広域幹線道路整備促進事業	43
		⑤	交流こそ活力の源。人とひとが響き合える、魅力あるまちづくりを進めます。	文化芸術振興事業	8
		⑥	伝統と文化財保護および文化・スポーツの振興など、地域の個性と独自性を大切にするまちづくりを進めます。	競技スポーツチャレンジ支援事業	7
				競技スポーツ大会開催支援事業	7
				文化財保護保存活動事業	8
				市民の健康づくり活動団体支援事業	14
				市民の健康づくり・体力づくりイベント開催支援事業	14
				春照地区まちづくり事業	52
				⑦	伊吹山と琵琶湖岸などの景観保全や、ホテルの飛び交う水辺の保全に努めます。
		地球温暖化対策推進事業	30		
		バイオマスタウン構想推進事業	30、35		
		伊吹山・霊仙山保護事業	31		
		農業関連施設整備事業	34		
		街なみ環境整備事業	34		
		景観行政団体移行事務	34		
		⑧	農村集落や里山の景観づくりに努め、美しいまちづくりを進めます。	奥伊吹の山村集落群調査事業	8
				美化対策推進事業	30
				米原式環境保全型農業推進事業	30
		⑨	上流から下流まで水源の里の活性化に努めます。	特色ある校園づくり推進事業	2
				農林水産体験実践事業	31、48
				水源の里振興事業	47
				林業振興支援事業	48
				まいばらファン倶楽部事業	55
3	一人一人の人権が尊重され、みんなが元気で明るく生涯現役のまちをつくらう。	①	先頭に立って「あいさつ運動」を進めます。	地域で子どもを支える活動支援事業	5
		②	「健康都市」を目指して、健康カレッジ(大学)を開設します。	地域健康づくり事業	14
		③	学校施設を開放、草の根スポーツの振興に努めます。	市民の健康・体力増進マネジメント事業	14
				市民の健康づくり活動団体支援事業	14
				市民の健康づくり・体力づくりイベント開催支援事業	14
				緑の拠点(都市公園)整備事業	33

「市長マニフェスト」と本計画との相関関係

=3つの元気(産業・心・体)に事業を選択・集中し、『絆で築く元気な米原市づくり』を推進=

市長マニフェスト				総計実施計画 推 進 項 目	掲 載 ページ
6 つの柱		45 実施項目			
	(つづき)	④	近江体育館と山東地域新グラウンドの建設整備に努めます。	幼稚園・小中学校施設整備事業	2、15
				体育施設整備事業	15
		⑤	生涯学習のネットワークづくり、高齢者の能力を活かすシステムづくりを進めます。	まちづくりリーダー育成事業	10
				まなびサポーター事業	10
				高齢者生きがい対策事業	22
				団塊世代への支援事業	60
		⑥	「わがまち自慢」を大切にし、地域のために汗する人を讃えます。	自治基本条例推進事業	57
		⑦	まちづくりを目的としたボランティア団体を経済面も含め支援します。	地域の絆でまちづくり事業	58
				地域コミュニティ活動支援事業	59
		⑧	インフルエンザ予防接種などの予防医療や介護の予防対策の負担軽減に努めます。	インフルエンザ対策事業	15
子どもの疾病の予防	17				
特定高齢者介護予防事業	23				
⑨	市民の健康を支える保健・医療・福祉体制の充実に努めます。	子どもの成長発達と親子の健康づくりの支援	17		
		医療・保健体制の充実	25		
		公共交通対策事業(バス・タクシー)	43		
⑩	高齢者や障がい者など社会的弱者を一番に守る体制を整えます。	介護保険等事業計画推進事業	21		
		福祉用具・住宅改修支援事業	22		
		地域ネットワーク事業	23		
		障がい者計画等推進事業	23		
		ワークスさかた移転推進事業	24		
		グループホーム施設整備事業	24		
		地域福祉計画策定推進事業	27		
4	農業・農村、地元商工業を元気にしよう。	①	若い新規就農者には、ビッグな激励金を贈ります。	農業活性化対策事業	48
		②	地産地消を進め、安全安心な食糧・食品を確保し農林漁業の振興を図ります。	安全・安心の地産地消促進事業	48
				まいばら特産品販売・観光情報発信拠点とネットワークづくり事業	55
		③	バイオ農業を推進し、有機農業とハウス園芸の振興を図ります。	農林水産物のブランド化事業	55
		④	里山を活性化させ、獣害対策を積極的に進め、農山村地域振興に努めます。	市民参加の森づくり事業 (いのちを育む里山の保全)	32
				農作物獣害対策事業	48
		林業振興支援事業	48		
		⑤	培ってきた人脈を最大限活かし、環境に配慮した企業誘致に努めます。	米原南工業団地造成(滋賀統合物流センター)事業	49

市長マニフェスト				総計実施計画 推 進 項 目	掲 載 ページ
6 つの柱		45 実施項目			
	(つづき)	⑥	地域ブランドづくりとまちのイメージアップのために、市長自らトップセールスに努めます。	観光情報発信事業	53
				まいばら特産品販売・観光情報発信拠点とネットワークづくり事業	55
				地域のブランド戦略	55
				農林水産物のブランド化事業	55
				市勢要覧発行事業	55
		⑦	地元商工業の振興に努めるとともに、低利の融資制度を拡充します。	商工業振興支援事業	48
		⑧	住友大阪セメント工場跡地の産業廃棄物処理施設の建設は反対します。	協働型地域振興サポート事業	59
		⑨	観光農業の推進を図るとともに、地域資源を活かした観光振興に努めます。	観光情報発信事業	53
				観光振興計画策定推進事業	53
5	安心と安全、 不測の災害 に備えよう。	①	万一に備え、強い地域コミュニティを育て、防災体制を整えます。	幼稚園・小中学校施設整備事業	2
				地域ネットワーク事業	23
				耐震化促進事業	38
				消防力基盤整備事業	38
				消防施設整備事業	38
				消防団員活動事業	38
				地域防災力向上事業	39
				防災意識啓発事業	39
				防災訓練実施事業	39
				災害基盤強化事業	39、45
				急傾斜地崩壊防止対策事業	40
				避難施設耐震対策事業	40
				地域防災情報発信事業	45
				采原駅周辺基盤整備事業 (区画整理関連事業)	52
				情報交換事業	62
		②	天野川および支川の浚渫(しゅんせつ)や、同川にかかる老朽化した橋梁の早期改修を県に強く働きかけ実現に努めます。	災害基盤強化事業	39
		③	地域での支えあい、ボランティアや NPO の活動を積極的に支援します。	新たな公共の担い手育成事業	59
		④	三世代同居のマイホームづくりを支援します	水源の里振興事業	47
		⑤	公共施設のバリアフリー化の推進に努めます。	市有財産の適正管理	66

「市長マニフェスト」と本計画との相関関係

＝3つの元気(産業・心・体)に事業を選択・集中し、『絆で築く元気な米原市づくり』を推進＝

市長マニフェスト				総計実施計画 推 進 項 目	掲 載 ページ
6 つの柱		45 実施項目			
6	透明でむだのない、市民の声と力を活かしたまちづくりをしよう。	①	市のホームページを充実するとともに、市長専用のホームページを開設して情報公開に徹します。	市民との情報共有戦略実践事業	61
		②	歳出削減を徹底するため、事務事業評価、行政評価について外部の第三者機関による評価制度を導入し、行政改革に努めます。	市政への市民参加の仕組みづくり事業	58
				行財政改革推進事業	63
				行政評価システム推進事業	64
		③	図書館は市直営で。公共施設の指定管理者制度を総合評価し、見直すべきものは見直します。	学びの情報収集・情報提供推進事業	9
				市有財産の適正管理	66
④	「出前トーク、市長と語る」などの座布団形式の「車座会議」を開催し、市民の声と職員の知恵を最大限活かします。	市政への市民参加の仕組みづくり事業	58		
		情報交換事業	62		
⑤	「米原大好き」の若い市民や女性を各種委員に多く登用します。	男女共同参画推進事業	12		



〔資料〕数値目標一覧

番号	指 標 名	現状値		目標値	掲載 ページ
		H20 年度末	H21 年度末	H25 年度末	
1	児童生徒の長期(年間 30 日以上)欠席率 (小学校)	0.53%	0.74%	0.50%	1、4
2	児童生徒の長期(年間 30 日以上)欠席率 (中学校)	2.75%	2.96%	2.00%	1、4
3	教育課程の工夫を目指した研究推進校・園の校・園数 (累計)	6 校・園	6 校・園	12 校・園	1
4	学校給食における地場産物を使用する割合 (食材数ベース)	19.50%	22.40%	25.00%	4
5	夢高原かつび伊吹の参加者数	1,179 人	924 人	1,000 人	7
6	特色あるまいばらの芸術展覧会 米原市民出品数	158 点	120 点	200 点	7
7	特色あるまいばらの芸術展覧会 市外出品数	99 点	137 点	150 点	7
8	歴史講座受講者数	90 人	90 人	100 人	8
9	市民一人当たりの図書館図書貸出冊数	13.69 冊	13.79 冊	14.44 冊	9
10	生涯学習まちづくり出前講座年間実施回数	147 回	166 回	130 回	9
11	地域で子どもを支える活動助成団体数	3 団体	4 団体	4 団体(H21 終了)	10
12	平和祈念式典参加者数	400 人	420 人	350 人	11
13	人権教育リーダー養成講座受講者数	249 人	245 人	250 人	11
14	人権尊重と部落解放をめざす市民のつどい参加者数	238 人	380 人	300 人	11
15	ハートフルフォーラム(地域学習会)参加者数	2,048 人	2,797 人	2,300 人	11
16	「男性は仕事、女性は家庭というような固定的な男女 の役割分担意識」にとられない人の割合	一(調査未実施)	一(調査未実施)	60.00%	12
17	市が設置する審議会等のうち女性委員が3割以上の 審議会等の比率	57.10%	58.90%	64.00%	12
18	ヘルスアップファシリテータの養成者数(累計)	18 人	100 人	160 人(H23 終了)	13
19	市民の健康診断の受診割合(年1回以上)	32.20%	42.00%	50.00%	14

番号	指 標 名		現状値		目標値	掲載 ページ
			H20 年度末	H21 年度末	H25 年度末	
20	地域ぐるみの健康づくり活動実践自治会数		1 自治会	1 自治会	12 自治会(H23 終了)	14
21	まいばら健康手帳の活用者数		770 人	1,378 人	5,000 人	14
22	鴨の里ふれあいマラソンの米原市民参加者数 (H20 年度末で廃止しいきいき健康ウォークへ移行)		702 人	—	1,000 人(H20 終了)	14
	いきいき健康ウォークの参加者数(H21 年度から)		—	225 人	500 人	14
23	乳幼児、児童の予防接種率		85.10%	88.80%	90.00%	17
24	乳幼児健診受診率		91.70%	95.10%	96.00%	17
25	妊婦健診の受診率		99.10%	99.00%	99.00%	17
26	放課後安心プラン実施箇所数	放課後児童クラブ	11 か所	10 か所	10 か所	18
		放課後キッズ	1 か所	3 か所	4 か所	
27	まいちゃん子育て応援隊登録事業所数		118 社	142 社	150 社	18
28	介護予防運動サポーター養成講座受講者数		0 人	0 人	0 人(H20 終了)	21
29	認知症住民学習会参加者数		380 人	660 人	1,000 人	21
30	高齢者の老人クラブへの加入割合 (60 歳以上人口に対する割合)		61.79%	55.60%	65.00%	22
31	特定高齢者訪問指導年間延べ利用者数		118 人	85 人	100 人	22
32	障がい福祉施設入所から地域生活への移行者数		0 人	0 人	4 人	23
33	福祉的就労から一般就労への移行者数		2 人	0 人	5 人	23
34	手話通訳講座修了者数(累計)		16 人	10 人	68 人	23
35	特定健診の受診率		46.10%	43.80%	65.00%	25
36	特定保健指導の実施率		56.60%	76.80%	70.00%	25
37	結婚相談事業を通じた年間婚姻成立件数		3 件	3 件	5 件	27
38	下水道を利用できる市民の割合(普及率)		97.90%	99.30%	99.30%(H22 終了)	29

番号	指 標 名	現状値		目標値	掲載 ページ
		H20 年度末	H21 年度末	H25 年度末	
39	下水道を利用している市民の割合(水洗化率)	80.30%	82.30%	84.20%	29
40	環境こだわり農産物認証面積	176.1ha	177.3ha	265.0ha	29
41	環境フォーラム参加者数(※ H18 名称は環境集会)	181 人	151 人	300 人	29
42	里山整備のための自治会との事業協定数	6 自治会	6 自治会	8 自治会	31
43	自治会との協定による年間の里山整備面積	15ha	15ha	20ha	31
44	市民一人当たりの都市公園面積	1.02 m ²	1.02 m ²	1.10 m ²	33
45	耐震診断派遣実施戸数(累計)	453 戸	478 戸	600 戸	37
46	消防団員数	855 人	852 人	858 人	38
47	自主防災組織の組織化自治会数	79 自治会	95 自治会	105 自治会	39
48	災害時応援協定の締結数	10 協定	12 協定	16 協定	39
49	市内の年間交通死亡事故件数	3 件	4 件	0 件	41
50	メール配信サービス(不審者情報)の登録件数(累計)	858 件	987 件	1,200 件	41
51	公共交通(バス・タクシー)一人1乗車当たりの運行赤字額	630 円	579 円	550 円	43
52	メール配信サービス(災害情報)の登録件数(累計)	857 件	985 件	1,200 件	45
53	移住促進による空家の活用軒数	1 軒	2 軒	15 軒	47
54	上記以外の空家の活用軒数	1 軒	2 軒	11 軒	47
55	担い手による農地経営面積比率	54.50%	55.70%	62.50%	48
56	間伐施業面積	52ha	200ha	300ha	48
57	企業活動に関する相談件数	15 件	10 件	20 件	48
58	「あおぞら」での相談のうち就労につながった件数	4 件	4 件	5 件	49
59	新規企業の立地件数(工場等誘致条例該当企業)	0 社	0 社	1 社	49

番号	指 標 名	現状値		目標値	掲載 ページ
		H20 年度末	H21 年度末	H25 年度末	
60	既存企業の事業拡大件数(同上)	0 社	0 社	1 社	49
61	新規企業立地、既存企業事業拡大に伴う市民の就職者数(同上)	0 人	0 人	10 人	49
62	米原駅1日当たりの乗降客数	10,585 人	9,971 人	11,000 人	52
63	年間の観光入込客数	207 万人	205 万人	210 万人	53
64	市が設置する審議会等のうち公募委員枠を設けている審議会等の比率	44.30%	41.10%	50.00%	57
65	みんなが主役のまちづくりフォーラム参加者数 (H21 年度末で廃止しスキルアップ講座へ移行)	100 人	150 人	200 人(H21 終了)	59
	スキルアップ講座受講者数(H22 年度から)	—	—	30 人	
66	ケーブルテレビ加入件数	10,412 件	10,484 件	11,000 件	61
67	メール配信サービスの延べ登録件数(累計)	1,188 件	3,024 件	3,300 件	61
68	市役所職員数	433 人	424 人	未定	64
69	実質公債費比率(普通会計ベース)	15.5%	14.7%	18.0%以下	65
70	市税の徴収率	94.90%	93.90%	94.80%	65
71	年間の広告収入額	250 万円	224 万円	240 万円	65

〔資料〕 所管局課別目次

〔市長直轄〕

政策秘書課

国際交流推進事業	8
地域防災情報発信事業	45
水源の里振興事業	47
地域のブランド戦略	55
まいばらファン倶楽部事業	55
市勢要覧発行事業	55
自治基本条例推進事業	57
市政への市民参加の仕組みづくり事業	58
地域の絆でまちづくり事業	58
協働型地域振興サポート事業	59
新たな公共の担い手育成事業	59
ふるさと寄付金制度活用事業	60
団塊世代への支援事業	60
市民との情報共有戦略実践事業	61
地域情報化推進事業	62
情報交換事業	62
行財政改革推進事業	63
行政評価システム推進事業	64
部局別経営マネジメント能力向上の推進	64
財源の確保	65
市有財産の適正管理	66
特色ある校園づくり推進事業	2
奥伊吹の山村集落群調査事業	8
食育プラン推進事業	13
農林水産体験実践事業	31,48
水源の里振興事業	47
地域のブランド戦略	55
まいばらファン倶楽部事業	55
財源の確保	65
工業振興支援事業	48
米原南工業団地造成(滋賀統合物流センター)事業	49
企業誘致戦略事業	49
新産業用地創出事業	49
米原駅東口周辺まちづくり事業	52,56
財源の確保	65

水源の里振興室

都市振興局

〔総務部〕

総務課

非核平和都市宣言啓発事業	11
市政への市民参加の仕組みづくり事業	58
部局別経営マネジメント能力向上の推進	64
職員人材育成事業	64
人事評価システムの導入	64
計画的な職員数の削減	64
財源の確保	65
市有財産の適正管理	66
市政への市民参加の仕組みづくり事業	58
地域の絆でまちづくり事業	58
市民との情報共有戦略実践事業	61
部局別経営マネジメント能力向上の推進	64
計画的な財政運営	65
公債費負担の適正化	65
財源の確保	65
財政情報の開示	65
新公会計制度の導入	65

財政課

管財課	ふるさと寄付金制度活用事業	60
	基幹系・情報系システムリプレイス事業	62
	新たな入札制度の確立	65
	財源の確保	65
公共施設対策室	市有財産の適正管理	66
人権政策課	人権教育啓発推進事業	12
	外国人・人権対策事業	12
	市民のつどい開催事業	12
	男女共同参画推進事業	12
	財源の確保	65
[市民部]		
税務課	ふるさと寄付金制度活用事業	60
	財源の確保	65
収納対策課	財源の確保	65
市民安全課	環境にこだわる公共交通	30,43
	消防力基盤整備事業	38
	消防施設整備事業	38
	消防団員活動事業	38
	地域防災力向上事業	39
	防災意識啓発事業	39
	防災訓練実施事業	39
	災害基盤強化事業	39,45
	災害時応援協定締結の推進	40
	市民とともに築く安全な道路環境推進事業	41
	防犯対策事業	41
	地域防犯対策支援事業	42
	鉄道利用促進事業	43
	公共交通対策事業(バス・タクシー)	43
	地域防災情報発信事業	45
	財源の確保	65
保険課	市民の健康チェック・サポート事業	14
	地域健康づくり事業	14
	福祉医療費助成事業	25
	特定健診・特定保健指導事業	25
	後期高齢者医療事業	25
	財源の確保	65
[健康福祉部]		
福祉支援局	市民の健康チェック・サポート事業	14
	地域健康づくり事業	14
	地域包括支援センター事業	22
	権利擁護事業	22
	地域ネットワーク事業	23
	特定高齢者介護予防事業	23
	相談支援事業	23
	社会福祉協議会等支援事業	27
	心配ごと相談事業	27
	地域福祉計画策定推進事業	27
	財源の確保	65
社会福祉課	平和祈念式典開催事業	11
	高齢者生活支援事業	22
	障がい者計画等推進事業	23
	移動支援事業	23
	コミュニケーション支援事業	23
	ボランティア育成事業	24
	日常生活用具給付事業	24
	地域活動支援センター事業	24
	在宅生活支援事業	24
	日中一時支援事業	24
	地域活動支援事業	24

	ワークスさかた移転推進事業	24
	グループホーム施設整備事業	24
	生活支援事業	24
高齢福祉課	財源の確保	65
	介護保険等事業計画推進事業	21
	家族介護継続支援事業	22
	福祉用具・住宅改修支援事業	22
	高齢者生きがい対策事業	22
	高齢者生活支援事業	22
	地域ネットワーク事業	23
	災害基盤強化事業	39
健康づくり課	財源の確保	65
	子どもの食育体験推進事業	4
	市民の健康づくり活動拠点事業	13
	健康づくりリーダー人材育成事業	13
	食育プラン推進事業	13
	「健康まいばら 21」推進事業	13
	市民の健康チェック・サポート事業	14
	地域健康づくり事業	14
	インフルエンザ対策事業	15
	子どもの疾病の予防	17
	子どもの成長発達と親子の健康づくりの支援	17
	医療・保健体制の充実	25
	財源の確保	65
[経済環境部]		
商工観光課	人権教育啓発推進事業	12
	結婚相談事業	27
	環境にこだわる公共交通	30,43
	農林水産体験実践事業	31,48
	水源の里振興事業	47
	商工業振興支援事業	48
	若者自立支援(若者自立ルーム「あおぞら」)事業	49
	企業誘致戦略事業	49
	観光情報発信事業	53
	市民協働観光ガイド戦略	53
	観光資源活用イベント支援事業	53
	観光振興計画策定推進事業	53
	まいばら特産品販売・観光情報発信拠点とネットワークづくり事業	55
	農林水産物のブランド化事業	55
	財源の確保	65
環境保全課	環境リーダー育成事業	29,35
	美化対策推進事業	30
	米原式環境保全型農業推進事業	30
	環境基本計画推進事業	30
	環境にこだわる公共交通	30,43
	公害防止対策事業	30
	地球温暖化対策推進事業	30
	リサイクル推進事業	30
	バイオマスタウン構想推進事業	30,35
	伊吹山・霊仙山保護事業	31
	協働型地域振興サポート事業	59
	財源の確保	65
農林振興課	子どもの食育体験推進事業	4
	米原式環境保全型農業推進事業	30
	農林水産体験実践事業	31,48
	市民参加の森づくり事業(いのちを育む里山の保全)	32
	農地・水・環境保全向上対策事業	33
	農道台帳整備事業	33
	農業関連施設整備事業	34

[土木部]
建設課

都市計画課

住宅対策室

上下水道課

米原駅周辺整備課

[山東市民自治センター]
自治振興課

水源の里振興事業	47
農業活性化対策事業	48
安全・安心の地産地消促進事業	48
農作物獣害対策事業	48
林業振興支援事業	48
農業振興地域整備計画策定推進事業	51
まいばら特産品販売・観光情報発信拠点とネットワークづくり事業	55
農林水産物のブランド化事業	55
協働型地域振興サポート事業	59
財源の確保	65
地籍調査事業	37
浸水対策事業	38
災害基盤強化事業	39
急傾斜地崩壊防止対策事業	40
交通安全施設等整備事業	41
バリアフリー市道整備事業	41
広域幹線道路整備促進事業	43
市道整備促進事業	44
米原南工業団地造成(滋賀統合物流センター)事業	49
春照地区まちづくり事業	52
財源の確保	65
緑の基本計画推進策定事業	31
緑の拠点(都市公園)整備事業	33
駐輪場確保・維持管理事業	33
街なみ環境整備事業	34
景観行政団体移行事務	34
都市計画マスタープラン策定推進事業	51
市街化調整区域内地区計画運用基準策定	51
都市計画区域の検討	51
坂田駅周辺整備事業	52
近江長岡駅周辺整備事業	52
春照地区まちづくり事業	52
協働型地域振興サポート事業	59
財源の確保	65
耐震化促進事業	38
避難施設耐震対策事業	40
公営住宅等管理事業	47
水洗化促進事業	29
水道ビジョン(水道事業基本計画)策定推進事業	37
水道の安定供給のための上水道整備事業	38
水道の安定供給のための簡易水道整備事業	38
財源の確保	65
駐輪場確保・維持管理事業	33
米原駅東部土地区画整理事業	52,56
区画整理関連事業	52
米原駅整備事業(自由通路整備事業・駅橋上化整備事業)	52
まいばら特産品販売・観光情報発信拠点とネットワークづくり事業	55
財源の確保	65
耐震化促進事業	38
災害基盤強化事業	39
近江長岡駅周辺整備事業	52
市政への市民参加の仕組みづくり事業	58
地域の絆でまちづくり事業	58
協働型地域振興サポート事業	59
地域コミュニティ活動支援事業	59
情報交換事業	62
財源の確保	65

[伊吹市民自治センター]

自治振興課

耐震化促進事業	38
災害基盤強化事業	39
水源の里振興事業	47
市政への市民参加の仕組みづくり事業	58
地域の絆でまちづくり事業	58
協働型地域振興サポート事業	59
地域コミュニティ活動支援事業	59
情報交換事業	62
財源の確保	65

[米原市民自治センター]

自治振興課

耐震化促進事業	38
災害基盤強化事業	39
市政への市民参加の仕組みづくり事業	58
地域の絆でまちづくり事業	58
協働型地域振興サポート事業	59
地域コミュニティ活動支援事業	59
情報交換事業	62
財源の確保	65

[近江市民自治センター]

自治振興課

耐震化促進事業	38
災害基盤強化事業	39
坂田駅周辺整備事業	52
市政への市民参加の仕組みづくり事業	58
地域の絆でまちづくり事業	58
協働型地域振興サポート事業	59
地域コミュニティ活動支援事業	59
情報交換事業	62
財源の確保	65

[教育部]

教育総務課

幼保一元化推進事業	2,18
教育振興基本計画策定管理事業	2
幼稚園・小中学校施設整備事業	2,15
給食センター施設整備事業	4
子どもの食育体験推進事業	4
情報化環境整備事業	5
体育施設整備事業	15
財源の確保	65
給食センター施設整備事業	4
学校給食事業	4
幼稚園・小中学校在り方検討事業	2
幼保一元化推進事業	2,18
特色ある校園づくり推進事業	2
すこやか支援事業	3
職場体験学習事業	3
子どもの体力アップ推進事業	3
外国語教育推進事業	3
保・幼・小・中連携教育推進事業	5
国際交流推進事業	8
ふるさとの自然から学ぶ学校教育事業	10
市民とともに築く安全な道路環境推進事業	41
財源の確保	65
教育調査研究事業	3
教育センター事業	5
地域で子どもを支える活動支援事業	5
次世代育成支援対策推進事業	18
地域で支える子育て支援事業	18
放課後安心プラン事業	18
財源の確保	65

学校給食センター

学校教育課

教育センター

こども元気局

幼児教育室	幼保一元化推進事業……………	2,18
	保育サービス推進事業……………	18
子ども家庭サポートセンター	子ども家庭サポートセンター事業……………	19
	子ども家庭支援ネットワーク事業(要保護児童対策地域協議会事業)……	19
特別支援サポートセンター	若者自立支援(若者自立ルーム「あおぞら」)事業……………	49
こども療育センター	子どもサポート体制整備事業……………	3,5
生涯学習課	障がいのある子どもなどへの支援事業……………	19
	文化芸術振興事業……………	8
	市民文化芸術活動支援事業……………	8
	特色ある芸術展覧会開催事業……………	8
	学びの場づくり推進事業……………	9
	学びの情報収集・情報提供推進事業……………	9
	まちづくりリーダー育成事業……………	10
	まなびサポーター事業……………	10
	地域で学ぶ市民活動推進事業(地域活動支援事業)……………	10
	人権教育リーダー養成事業……………	11
	人権教育啓発推進事業……………	12
	地域健康づくり事業……………	14
	財源の確保……………	65
スポーツ振興室	幼稚園・小中学校施設整備事業……………	2,15
	競技スポーツチャレンジ支援事業……………	7
	競技スポーツ大会開催支援事業……………	7
	市民の健康・体力増進マネジメント事業……………	14
	市民の健康づくり活動団体支援事業……………	14
	市民の健康づくり・体力づくりイベント開催支援事業……………	14
	体育施設整備事業……………	15
歴史・文化財保護室	文化財保護保存活動事業……………	8
	文化財保護活動支援事業……………	8
	文化財情報発信事業……………	8
	奥伊吹の山村集落群調査事業……………	8
	春照地区まちづくり事業……………	52
図書館	おはなし隊派遣事業……………	5
	学びの情報収集・情報提供推進事業……………	9
市民交流プラザ	文化芸術振興事業……………	8
	学びの場づくり推進事業……………	9